



緑樹会

No.77
2020.09.01
会報

発行 / 兵庫医科大学同窓会緑樹会・発行人 / 石蔵礼一 〒663-8501 西宮市武庫川町 1-1・TEL:0798-45-6448 FAX:0798-45-6449



特集

総会・開学50周年へ向けて



昭和56年の緑樹会会報創刊号と兵庫医科大学航空写真

目 次

1. 会長より会員の皆様へ	3
2. 総会特集	4
3. 兵庫医大50周年へ向けて	7
4. 病院長等就任のご挨拶	9
5. 医師会会長就任等のご挨拶	13
6. 准教授・講師就任のご挨拶	14
7. 兵庫医大教授に就任された先生から緑樹会会員へメッセージ	19
8. 兵医のこころを後輩に	20
9. 留学体験記	25
10. アスリートを支える	27
11. 医局紹介	28
12. 研修医たより	30
13. 大学院研究日記(連載)	32
14. 兵庫医大50周年へ向けて(アーカイブズ室資料のご紹介)	34
15. 緑樹会リモートセミナー開催報告	36
16. 新規開業医紹介	38
17. 掲示版	42
18. 法人懇話会の報告	44
19. 理事・支部会一覧	46
20. 緑兵会会員名簿	48
事務局より	52
編集後記	74

1. 会長より会員の皆様へ



緑樹会会長

石 藏 礼 一 （昭和57年卒業）

緑樹会会員の皆様、こんにちは。平素は緑樹会の活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

まず、令和2年7月豪雨により被害に遭われました皆様にお見舞い申し上げます。

緑樹会会員の皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大という難局に接し、日々の診療を行いながら、院内感染予防の徹底など、ご心配やご苦労の多いことと思います。

さて、例年ですと緑樹会総会の開催報告をお伝えする時期ですが、今年は10月24日に延期してハイブリット方式で開催をさせていただきます。3密を防ぐため、会場には緑樹会理事の先生と、希望される一般会員の皆様。多くの皆様は遠隔会議に致しますので、WEB配信を希望する方は事前にメールでご連絡ください。詳細については緑樹会ホームページ、会報、メーリングリストでお知らせ致します。今年の緑樹会の最大のテーマである緑樹会法人化は、今年の総会で決議いただいた「令和2年度総会の日から法人化設立を目指す。」を目標に1年間準備を行ってきました。今年は総会にご参加いただくことを広く呼びかけることが叶いませんが、会員の皆様におかれましてはぜひ委任状をご提出いただきますようお願いいたします。

名簿発行について

来年は緑樹会会員名簿の発行年です。名簿掲載のための調査に御協力をお願いします。冊子としての名簿は一定の役割を終えたのではという声もいただいておりますが、同窓生の重要な財産の一つとして制作を進めています。また、会員名簿への広告掲載もぜひご検討ください。ただし、前回までは会員の皆様に送付していましたが、個人情報情報を慎重に取り扱うという観点から、次回の名簿配布は令和元年度の会費を納入いただいている方、且つ名簿発送を希望する方に配付を行う予定です。皆様のご理解とご協力をお願いします。

支部会について

今年はほとんどの支部会が開催を見送る事態となりました。支部会の活性化は緑樹会の活性化になくはならないものです。テレビ会議などを積極的に活用いただき、支部の絆を強めていただきたいと思います。

診療所実習の実施について

例年、大学近隣の緑樹会会員にご協力いただき、第2学年次「早期臨床体験実習Ⅱ（診療所実習）」を行っております。今年は5月に延期の決定を致しましたが、医学教育センターで慎重に検討を重ねた結果、当初の予定どおり11月に実施することといたしました。様々なご意見もいただいておりますが、総合的に判断して実施に至りましたのでご理解とご協力をお願い申し上げます。

大学創立50周年について

大学は2022年に創立50周年を迎えます。同窓会としても教育を受けた母校の支援・発展を目指して、募金協力を行いたいと考えています。それには会員の皆様のご支援が必要です。緑樹会が母校の発展に寄与し、在校生との絆を強め、兵庫医大とより信頼しあう関係の構築を実現するには皆様のお力が必要です。どうか宜しくお願いいたします。兵庫医科大学創立50周年記念事業には緑樹会から会長、副会長、理事が実行委員メンバーとして参画していますので、是非ご意見やご提案がありましたら緑樹会事務局までお願いします。

最後になりますが、同窓会は会員の皆様の会費を基に運営されています。会費の納入にご協力をお願いします。今回から会費請求書を会報に同封していますのでご確認ください。口座自動振替の手続きは事務局にお問い合わせください。引き続き会員の皆様の声に耳を傾け、ご支援とご協力を仰ぎつつ、新しい挑戦を続けていきたいと思っておりますので、ご指導、ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

2. 総会特集

第43回兵庫医科大学同窓会緑樹会総会のご案内

平素は、同窓会緑樹会に多大なるご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、例年7月に開催しておりました緑樹会定期総会ですが、今年はCOVID-19感染拡大を受け、10月24日に延期して開催いたします。しかし多人数の方が集会することを避けるために総会は下記の通り開催しますが、規模を大幅に縮小して開催します。緑樹会会員の皆様におかれましては、極力当日のご出席は控えていただき、委任状をご提出いただきますようお願いいたします。

何卒ご理解とご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

令和2年9月1日
兵庫医科大学緑樹会
会長 石藏 礼一

記

■日時 令和2年10月24日(土)15時～17時

■場所 兵庫医科大学 301講義室(教育研究棟3F)

議案

1. 令和元年度事業報告の件
2. 令和元年度会計報告の件
3. 令和元年度会計監査報告の件
4. 令和2年度事業計画(案)の件
5. 令和2年度予算(案)の件
6. 緑樹会法人化の件

総会出欠(委任状)は、令和2年10月10日までに緑樹会事務局へご提出ください。会員の皆様には、できるだけQRコードをご利用いただきますようご協力をお願い申し上げます。(今年3月の会報に同封した委任状をご返送いただいている方は、改めてお送りいただく必要はありません。)



- ※WEB会議で総会参加を希望する方は、緑樹会事務局までお問い合わせください。
- ※総会終了後、教授就任者への記念品贈呈式および、緑樹会学術奨励賞授賞式を行います。
- ※後日、教授就任者および、学術奨励賞受賞者による記念講演の録画配信を行います。ぜひご視聴ください。詳細は緑樹会メーリングリストでご案内します。
- ※懇親会は中止します。

兵庫医科大学同窓会「緑樹会」の法人化に向けて

緑樹会副会長

黒田 佳治（昭和53年卒業）

兵庫医科大学同窓会の会員も4300名を超え日本各地に22支部を持つ大きな団体になっています。予算規模もある程度大きくなってきています。同窓会に寄付をしても寄付して下さった法人や個人の方の税制上のメリットがなく、同窓会が法人化していれば税制上で経費と認められる可能性があることがわかり、同窓会の法人化について調べました。

法人化のメリット

1. 国が認めた法人として活動ができ、個人や任意団体より社会的信用力が高まる。
2. 同窓会として銀行口座を持つことができる。
3. 所得税や相続税など個人所得とみなされるリスクを回避できる。
4. 法人からの寄付対象になる。
5. 集めた寄付金の用途は収益事業以外であれば比較的自由に決められる。
6. 運営、会計報告など法律に則った運営が求められるため、第三者性が担保され、外部の価値認識による透明性の高い運営が期待できる。
7. 税務上の優遇がある（収益事業のみが課税対象となるため税金が安い）以上により、同窓会として寄付を募りやすくなります。

法人化のデメリット

1. 監督官庁が出来るため法の縛りが発生する。
2. 設立費用、法人化に伴う費用がかかる。
3. 書類管理が煩雑になる。会計書類等の管理、決算時期に伴う費用がかかる。
4. 法人税の支払い。

法人化する理由

同窓会（任意団体）として運営してきましたが、会員数と扱う金額（寄付の募集、寄贈、会費）が増大し、より厳密に法律に則って運営を行う、コーポレートガバ

ナンスの風潮に沿うこと、寄附金の決定や意思決定過程の透明化にも資するという点からメリット、デメリットの議論を重ね、平成31年3月14日の理事会で法人化に向け準備することで決定しました。

一般社団法人へ寄付をした場合の取り扱い

1. 個人が寄付した場合
寄付金控除の対象となる寄付ではありませんが、寄付をされる個人によって、接待交際費や広告宣伝費等で損金扱いが可能な場合もあります。
2. 法人が寄付した場合
資本金等の額と所得の額に応じ、損金算入限度額までは損金算入（いわゆる経費）にできます。

目指す法人

一般社団法人（非営利型）へ移行する。非営利型の一般社団法人へ移行することで、収益事業をした場合の所得のみが課税されるため、現状の会費等収入には課税はされません。

法人化後

現在の同窓会の事業を移譲します。そのためには、総会での会員の同意が必要となります。また、代議員制度を導入しますので、現在約4300名の会員全員を定時総会招集の対象者とするのではなく、全会員から選ばれた代議員を総会（代議員会）に招集し、会員の意思決定とすることになります。合理的な総会の運営、理事役員会の運営を目指し、一層充実した事業展開を行う予定です。

現在、非営利型の一般社団法人を目指して定款の作成、法人組織体制の検討を理事会で行っています。また設立に要する費用、設立後の経費、委託税理事務所の選定、法人登記に必要な司法書士、行政書士などの選定なども併せて検討しています。法人化に向け会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。

3. 兵庫医大50周年へ向けて



兵庫医大と共に

脳神経内科学

教授 武田 正中 (昭和59年卒業)

私は第1期生の先輩方が卒業された1978年(昭和53)に7期生として入学し、1984年(昭和59年)に卒業しました。卒業して36年になりますが、人生のほとんどを兵庫医大と共に歩んできたように思います。そして、開学50周年を母校のスタッフとして迎えることが出来ました。42年前、和歌山から西宮市に来て、最初に目に入ったのは風光明媚な景色のなかにそびえる兵庫医科大学と付属病院でした。阪神間の中心という立地の良さ、環境の良さに胸躍らせたのを覚えています。下宿から徒歩で6年間通学しましたが、今も同じ道を徒歩で通勤しています。

私は「神経」に興味があったので、卒業後すぐ兵庫医大病院第五内科に入局しました。当時の第五内科は新しい講座で、慶応大学から立花久大先生が、その後、京都大学から奥田文悟先生が赴任され、神経内科学の指導をうけました。神経内科には病態不明な疾患が多く、研究すべき課題は膨大で、やりがいのある分野と感じました。さらに難病患者さんに寄り添うと、深く考えさせられました。

現在の所属は脳神経内科学講座です。2019年11月に兵庫医科大学病院認知症疾患医療センターのセンター長を拝命しました。我が国は世界一の超高齢社会であり、それに伴い認知症疾患が大きな社会

問題になっています。認知症疾患医療センターは、兵庫県から委託され、認知症患者の鑑別診断を行い、認知症患者とその家族が住み慣れた地域で安心して生活ができるための支援を目的としています。認知症診断と認知症患者の治療に少しでも寄与できたらと考えています。

私の研究は、パーキンソン病など神経変性疾患の電気生理学的検討、認知症とてんかんの関連性、脳波と画像検査を用いた認知症疾患の鑑別について等で、これらを論文や学会で報告してきました。また、緑樹会では学術担当としております。年1~2回緑樹会学術セミナーを開催しています。これは、緑樹会の先生に、大学病院を含めた地域連携のご苦労をお話しいただき、兵庫医大でご活躍中の先生に講演をお願いしています。同窓生の皆様ぜひ参加していただければと存じます。

兵庫医大は50周年を迎え、国試合格率はトップクラスで、診療および研究の面でも多大な成果をあげています。本学出身の研修医はみな優秀で、国立や既設私学に負けないと感じます。これからも本学のため、後輩たちのために、微力ながらも精一杯尽力したいと思っております。



同窓生の皆様と共に歩む大学へ

兵庫医科大学
学長 野口 光一

この度、本年4月1日付けで兵庫医科大学学長に再任されました野口です。緑樹会の先生方には日頃より大変お世話になっており、心より御礼申し上げます。また、新型コロナウイルス感染拡大を受けて、皆様方も公私ともに大変ご苦労されていることと存じます。兵庫医科大学も、学生教育・診療に極めて大きな影響を受け、その対応に最大限の努力を継続している状況であります。学生達も困難な状況の中でリモート授業や大幅な教育カリキュラム変更、新しい日常に対応してくれております。こうした危機的状況に関わらず、兵庫医科大学の本質的存在意義である、教育・診療・研究をしっかり継続出来るようにしてまいりますので、皆様のご協力、ご理解をお願い申し上げます。

さて、本学は創立者故森村茂樹先生により1972年4月に開学され2022年4月に創立50周年の節目を迎えます。森村先生の提唱された建学の精神を礎に本学は教育・研究・診療のいずれにおいても順調に発展してまいりました。本学にとって重要なマイルストーンとなる創立50周年を卒業生の皆様と共に祝いし、次の50年に向けての大きな一歩とするために兵庫医科大学創立50周年記念事業を立ち上げました。

この記念事業には大きな2本の太い柱があります。一つは従来の1法人2大学から1法人1大学に向け、兵庫医科大学と兵庫医療大学が統合するプロジェクトであります。統合後は兵庫医科大学が4学部を持つ医療総合大学として、新しい時代の医療専門家を育てる革新的な教育システムを構築していきたいと考えています。もう一つの重要なプロジェクトが新病院棟

の建設です。近隣の大規模総合病院や関西地区での大学病院は新病院を続々と建設しており、本学においても老朽化した病院建物のハードとソフトを抜本的に再構築する必要があります。また南海トラフ大地震に備え早急な新病院棟の建設が必須となっております。2026年の開院に向け基本構想策定を終え、現在基本計画の立案が順調に進んでおります。さらに西宮キャンパス全体のランドデザイン構想に基づき、病棟の移転や臨床医局の改築・移転の計画もスタート致しました。

創立50周年記念事業はこの2大プロジェクト、つまり2大学を統合し本学のさらなる活性化、質の向上をはかり、新病院棟の建設を推進するための事業であり、教育・研究・診療の面で地域のそして日本の医学・医療を先導出来る存在であり続けるためのものです。今回の50周年事業を推進する体制には、同窓生の先生方のご意見を大幅に取り入れ、兵庫医科大学と緑樹会の皆様との一体感の熟成を図りたく、多くの緑樹会の先生方に記念事業委員会に入っていただくことに致しました。常務会の下に記念事業委員会と募金推進委員会を設け、それぞれの目的を推進してまいります。現時点は委員会体制が決まったところであり詳細なプランはこれからですが、是非緑樹会の皆様のご意見を取り入れ、皆様にとって印象的で記念碑的なイベントになるよう心がけてまいります。緑樹会の先生方にはどうぞよろしく本事業をご理解いただき、イベントへの積極的なご参加と各種事業へのご支援を心よりお願い申し上げます。

4. 病院長等就任のご挨拶



地域住民、地域企業と共に

名取病院

院長 百々元昭 (昭和55年卒業)

昭和55年卒の3期生です。入局は下山内科であった消化器の第Ⅳ内科です。平成11年同級生であった名取博之氏からの誘いがあり名取病院に勤務することになりました。当時の名取病院は外科、内科、整形外科でありましたが現在は外科がなくなりリハビリ科、内科、整形外科となっております。病院自体は83症の小さな病院ですが近くに老健、グループホーム、有料老人施設123床があります。

また近隣の健診、訪問診療も行っており地域に密着した病院として今年で60年を迎えようとしています。60年前には43号線もなく漁業が中心であったということですが次第に阪神工業地帯として発展して来ました。公害患者も私が着任した20年前には多くの方がいましたが、今では少なくなってきております。病院理念は先代の故名取博夫氏の(患者様、利用者様は私たちの家族です。わが親、わが子、わが兄弟姉妹と考え日々の業務に携

わります。)ということで月1度の朝礼の時にも職員全員で唱和しております。3年前には近くの福駅に千船病院が移転し急性期の病院として救急診療をされており、名取病院としてはリハビリに特化した病院としての役割を果たしていく方向で地域医療に貢献していけないかと考えております。

在宅復帰までの老健施設。認知のある方のグループホーム。高カロリー輸液、気切といった医療度合いの高い患者さんには看護師が24時間勤務いたします有料老人ホームがあり近隣の人々を中心ではありますが遠方からの利用者さんも受け入れております。訪問診療のほか健診、産業医活動も行っており地域の企業の方にも利用していただいております。本年には60年を迎えますがこれからも地域の皆様に愛される病院として頑張っていく所存です。

病院長就任のご挨拶

たつの市民病院

院長 三村 令児（昭和58年卒業）

1. 県派遣医 S58～

私は、昭和58年卒業の6期生です。と同時に県派遣医でもあります。これまでも多くの先輩・後輩の県派遣医が寄稿しておられるので、「いまさら」という感もあります。

2. 但馬 S60～H23

3年目から但馬地区に派遣されました。公立出石病院から公立豊岡病院へと転勤し最後の浜坂病院長の1年を含めると、合わせて26年間の但馬生活でした。

仕事は置いといて、但馬の生活はまさに自然との調和です。夏は暑い冬は雪が積もる、しかし、肉も魚もカニもうまいし、温泉もあります。短期間ならぜひお勧めです。

3. 柏原日赤 H23～28

前年度すでに旧柏原赤十字病院(H31 柏原医療センターに統合)に公立八鹿病院から院長として転任しておられた片山覚先生(現篠山医療センター院長)からのお誘いがあり、旧柏原赤十字病院へ転勤しましたが、この年は3/11の東日本大震災が起きた年でした。そこで初めて知った事(当たり前といえばそうなのですが)が、赤十字の災害派遣でした。ここに来て知った事なのですが、平成16(2004)年の台風23号が近畿地方を縦断しました。豊岡市は堤防が決壊し、市内全域が水没した事がありました。京都府舞鶴市の由良川では、観光バスが川に流されかけて

かろうじて岸壁にとどまり救助された(あの乗客は全員、豊岡病院OB職員だったんですよ)ことで全国的にも有名になりました。豊岡病院も1階と地下のリニアック設備、カルテ庫が水没し、診療機能が停止しました。この時、水没した豊岡市内の災害派遣で診療の応援に来てくれていたのが柏原赤十字病院のスタッフだったのでした。転任した5月災害派遣の順番が回ってきて岩手県山田町に派遣されました。50歳を過ぎての転勤ですが、あらためて赤十字職員の崇高な意思と行動に感動しました、自分もこうありたいと思いました。赤十字に来てつくづく良かったと思います。

4. たつの市民病院へ H28～

当時の市行政側からの要請によりたつの市民病院の院長へ赴任しました。

赴任当時は経営状況が悪く、先行きの見通せない状況でした。経営状況の改善のために、総合診療・初診外来・救急外来を新設し、3病棟各40床計120床の急性期編成を、急性期40、地域包括40、回復期リハ40に編成し直し、経営の改善に取り組みました。

5. 地方独立行政法人へ移行 R2～

本年4月から当院は地方独立行政法人へ移行しました。60歳を過ぎた今も更なる挑戦に挑んでいます。兵庫医大同窓生会員の先輩・後輩の皆様方の暖かい応援をお願いします。



2代目宇野津整形外科病院院長になって

宇野津整形外科病院

院長 宇野津雅哉（平成5年卒業）

平成5年卒の宇野津雅哉です。現在、姫路市にて宇野津整形外科病院を開業しております。緑樹会会報の投稿の機会を与えて頂きありがとうございます。

私は平成5年に卒業して12年間、大病院で鍛錬を重ねた後、平成17年に副院長として診療に従事し、7年前に前院長の父の後継として現在に至ります。

諸先輩方は既にも乗り越えて来られて釈迦に説法のようにになりますが、述べさせていただきます。

開業医として、また個人事業主としての臨床医になって感じたことは、勤務医として従事していた時とはまるで世界が変わりました。当然のことですが、まず、専門分野にこだわってはいけない事、患者様も社会的背景や全身状態が異なるので問診の重要性と家族との関係性を考慮して向き合っていないと疾患だけ診ていても逆に信頼関係が損なわれるということを経験して思いました。

更には経営者としての資質が年度末決算時期に思い知らされるということです。診療報酬は健康保険組合に請求するわけですが、昔に比べてかなり審査が厳しくなっているようで、患者様に必要な検査、良かれと行なった治療も請求内容に少しでも外観的に過剰と判断されればカットされます。医業とは、金銭的な利益を追求することではなく病める患者様に最適な医療を提供する事を医の倫理として、学んできましたが、医療側が潰れてしまっただけでは元もこうもないということです。

ただ、そういうことはやはり情報が大事であるかということです。学術的な情報は学会に所属し最新の医療情報を取り入れてきましたが、勤務医時代には目を背けがちだった訴訟事例、交通事故、労働災害などに直面すると、いざ、どう向き合うか、また、困った症例に遭遇すると、勤務医時代には周囲に相談しやすい先輩や同僚がいましたが今は独りです。そのためには多くの同じような境遇にあ

る先生方と交流、懇親がもてる機会に参加すると、学閥は異なっても、先生方の意見が凄く頼もしく自分の引き出しをどんどん増やすことで、対応に躊躇することが減ってきました。

縁があり、今では兵庫県整形外科医会の親睦担当理事を任せて頂き、イベント企画等で多くの困難も先輩方のお力添えで全うしてきました。医業を営むことはそれで大変ですが、医会役員の仕事をこなす中で多くの先生方や演者の先生方と交流ができ、難渋する症例も独りで抱え込まず、紹介や相談に乗って頂ける先生が増えると共に、遠方の場所に紹介するときも紹介先の先生の顔が浮かんで、患者様の信頼も大きくなります。

今回もご縁がありましてこのような機会を与えて頂き、光栄に思います。Facebookなどのソーシャルネットワークサービスの恩恵で、普段会えない先輩方と交流ができて開業医の孤独感はかなり払拭されました。昨今のSNS独特の問題が話題になってますが、節度を持って利用すればコロナ渦中でもこんなに繋がれるということに最近浸っています。

色々な会に携わることは、井の中の蛙にならず、多くの情報を得る、多くのジャンルに参加する事によって、人生や困った時の引き出しが増えていることを日々実感しています。

皆さんの医師会でも、いろんな役割があって、委員会等、参加することによって、多くの先生方や医師会の担当事務方に幾度も心身ともに救われたか数え切れない程の恩恵を受けて、それぞれの役割を果たすことで、信頼関係を築くことは人生にとって、また、臨床家としても多くの生き残りのための策ができるでしょう。

そしてまた、これからの医師として世の中に巣立っていく後輩たちに引き継いでもらえれば、素晴らしい臨床家が誕生することが楽しみでもあります。



お産屋さん

医療法人社団直太会 理事長

マムクリニック 院長

上田真太郎 (平成12年卒業)

緑樹会の皆様、こんにちは。僕は兵庫医大平成12年卒、神戸市北区で産婦人科クリニックを開業しております上田真太郎と申します。

令和2年4月より当院と神戸市中央区にある母と子の上田病院からなる医療法人の理事長に就任し、投稿の依頼を頂くこととなりました。

依頼のお電話を頂いたのはまさにコロナ感染による非常事態宣言下にある4月末のことでした。突然ラグビー部の大先輩よりお電話を頂き、「僕は何でもいいからとりあえず書いてくれるか？」とのこと。まるで鳴尾浜のグラウンドで大先輩から突然の無茶ブリされている情景が目につかび、懐かしい気持ちになりました。考えてみると、クリニックの院長であり、もうすぐ50才になろうというおっさんが、最近他人から命令されることもなく、何年経っても上下関係は続いているものなのだなど嬉しくもありました。

僕は平成12年大学を卒業するも国家試験に不合格、国試浪人を経て、平成13年兵庫医科大学産婦人科医局に入局。医局人事で6年間をすごした後、平成19年4月に母と子の上田病院(叔父の経営する病院)に戻るようになりました。

当時この病院は年間1000件の分娩を産婦人科医の叔父叔母と小児科医の叔父の3人で運営しており、疲労困憊状態にあった叔父達よりとにかく早く戻って来いとこの要請でした。それから7年間同院で勤務。途中、次弟が4人目の産婦人科医として加わり、病院の建て替えにも立ち合うことが出来ました。

平成26年に1人でクリニックを開業していた父親が引退を口にしたため「親子経営は難しい」という声の中、院長を交

代し父親と2人でクリニックを続けてゆくことになりました。

実家に戻ってすぐの頃は、父親に対し自分の方が新しい知識が豊富であると思ひ込み、何かとダメ出しをしていました。父親は何も言い返さず黙って自分なりのスタイルで仕事を続けていました。

一緒に仕事をしているうちに、吸引分娩やお産の介助法などは明らかに父親の方が上手であることに気付きました。結局、僕達の仕事、産婦人科の中でも周産期と呼ばれる「お産」に特化した業種は職人技みたいなもので、経験に勝るものは無いと改めて感じ、これにより父親に対する敬意は大きくなり、現在73歳になっても月の半分当直をしてくれている父親には、僕の方がまだ甘えさせてもらっているんだと気付きました。

毎日、患者の幸せ(出産)に立ち会い、感謝され本当に幸せな職業であると満足する反面、少子高齢化の出生数がどんどん減少していく時代の中で自由が効かず、訴訟の件数が断トツに多い、いわゆる「お産屋さん」。僕は幼少期より父親達の背中を見て、これを家業であると思ひ迷うことなく引き継ぎましたが、自分の子供達には果たしてこのリスクの高い家業を継いでもらうことが幸せなことなのか？中学3年生になった長男を見てふと考えてしまうことがあります。

僕はこの度お産を取り扱う医療法人の理事長となりましたが、これからの時代、我々の家業が時の流れによってどのような方向に進んで行くのか(ゆくゆく、お産は個人病院はなくなり、大学病院等の大きな病院に集約されていくのではないかとされています。)毎日、生命の誕生を身近で感じながら、上手にかじ取りをしてゆければと考えています。

5. 医師会会長就任等のご挨拶



兵庫県整形外科医会 会長就任の挨拶を兼ねて

医)慶仁会やました整形外科
院長 山下仁司 (昭和56年卒業)

4期生の山下です。緑樹会会長の石蔵先生とは同期の桜です。卒業後、母校の整形外科教室に入局、主に大学病院で勤務し、米国留学も経験させていただき、その後関連病院での勤務を経て、2001年に加古川市で無床診療所を開業いたしました。開業後も、外科医としての技術を生かすべく、地域の大学関連病院と連携し、後輩たちと手術をさせていただいています。年齢を重ねるごとに、学会の理事や代議員、県医師会の理事や委員、行政の仕事等、多くの公職を、請われるままに引き受けてきましたが、当年64才、そろそろ散り際も考えないといけない年齢になってまいりました。

そんな中、2019年1月より、兵庫県整形外科医会会長に就任いたしましたので、これを機会に医会の紹介をさせていただきます。

本会は、1973年に兵庫県臨床整形外科医会として発足し、1984年に兵庫県整形外科医会と改称、県医師会の専門分化医会としての役割とともに、日本臨床整形外科学会(以下JCOA)と日本整形外科勤務医会の兵庫支部の機能を有し、県内で働く多くの整形外科医が所属しています。私で10代目の会長になります。開業医会員と勤務医会員がともに所属しているため、風通しの良さが特徴です。2020年6月現在、会員数450人(開業医312人、勤務医130人、その他8名)を有し、会員のメーリングリストを通じて、整形外科に関する数々の情報発信をしております。ぜひ一度、ホームページ(<https://www.hyogo-coa.jp/>)も訪れてみてください。

会運営の3本柱である、自己研鑽、経済安定、社会貢献を実行する為多彩な活動を行っております。専門医資格継続

のための年5回の定期学術講演会、年3、4回の共催学術講演会をはじめ、新規開業向けセミナー、セラピスト研修会、市民向け「骨と関節の日」の記念行事など、3名の副会長、20名の理事のもと、年6回の理事会と適時の委員会を開催して、運営しています。JCOA監事をはじめ、JCOAの委員会にも8名の委員を輩出し、全国的な活動も盛んです。

会員の親睦活動として、ゴルフ部、軽音学部、写真部などがあり、個々に目標を掲げて活動しています。特にゴルフ部は、親睦ゴルフ大会開催の他、日本医師ゴルフ大会兵庫県チームの選手を送り出すべく高い目標を掲げております。

本年度は、年頭からの新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの活動が制限をうけていますが、オンライン等を用いて理事会を開催し、WEBでの講演会を企画するなど、コロナ後も見据えて前向きに難局を乗り越えようと踏ん張っております。

近年、整形外科開業医の立ち位置は、変化を求められています。今までは「かかりつけ医機能を持った専門医」として生きてきた時代であり、専門医としてのスキルの維持が重要でしたが、最近では「専門性を持った かかりつけ医」が求められる時代となり、地域に根差したかかりつけ医としてのスキルも、必要になってきました。北は日本海から、南は瀬戸内海・淡路まで、「日本の縮図」とも呼ばれる兵庫県では、地域ごとに様々な問題を有しますが、地域の整形外科医の活動を支援することで、整形外科医のレベルアップにつながればと活動を続けていきたいと思っております。今後ともよろしくご挨拶申し上げます。

6. 准教授・講師就任のご挨拶



循環器・腎透析内科学
講師 名波正義（平成9年卒業）

令和2年4月1日より循環器・腎透析内科の講師Aを拝命致しました名波正義です。私は平成9年に兵庫医科大学を卒業し、同腎透析内科(旧人工透析部)に入局、川崎病院(神戸市)、JCHO大阪病院(旧大阪厚生年金病院)に勤務した後に帰局、その後現在に至るまで腎臓病・腎代替療法領域の診療に従事するとともに、米国(Emory University)において腎臓病学および腎生理学研究分野での経験を積んでまいりました。近年の腎臓病・透析医

療を取り巻く課題の複雑化、多様化する現状において、この領域の従事者・研究者としての社会的役割の重要性を改めて実感する次第です。多方面でご活躍の諸先生方から幅広い教養と技術を学び、本学ならびに地域医療機関の発展に貢献できるよう努めてまいり所存です。今後ともご指導ご鞭撻の程、何卒よろしくお願い申し上げます。



地域総合医療学(整形外科)
講師 柏薫里（平成13年卒業）

2020年4月より地域総合医療学(整形外科)の講師を拝命いたしました。2001年に兵庫医科大学を卒業し、整形外科に入局しました。その後、大学病院、明和病院、篠山病院(現、ささやま医療センター)、宝塚市立病院、船橋整形外科で学ばせていただきました。大学院では、産業技術総合研究所で再生医療について研究をさせていただきました。大学病院に戻り、前整形外科主任教授の吉矢晋一先生のご指導の下、膝関節やスポーツに関わる疾患を担当させていただきました

た。2016年、様々な御縁があり、Brigham & Women's Hospital(Harvard Medical Schoolの研修病院)へ留学の機会をいただき、再生医療の研究を行いました。2018年に帰国後、ささやま医療センターに勤務し、年齢も疾患も様々な患者さんの診療にたずさわっております。今までの経験を生かし、医療への貢献はもとより、母校の発展や医学教育にも尽力する所存です。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



糖尿病内分泌・免疫内科学
講師 松尾俊宏（平成18年卒業）

令和2年4月1日より兵庫医科大学内科学糖尿病内分泌・免疫内科学講座の講師を拝命いたしました。

私は平成18年に本学を卒業、市立芦屋病院で初期研修を行い、平成20年に糖尿病科に入局しました。平成23年に大学院に入学し、インクレチンホルモンやグルカゴンについて研究を行っておりました。

現在は、糖尿病診療および肥満外科外来を専門として行っております。肥満外科手術：腹腔鏡下スリーブ状胃切除術で

すが、当院では平成29年から開始となり、現在までに12症例治療を行っております。研究面では、糖尿病患者におけるグルカゴン分泌動態の解明を目標に日々研鑽しております。今後は臨床だけではなく研究・教育にも尽力し、母校である兵庫医科大学の発展に微力ながら貢献していく所存です。今後ともご指導・ご支援のほど何卒よろしくお願い申し上げます。



産科婦人科学
講師 脇本裕（平成19年卒業）

2020年4月に講師の職を拝命した脇本裕です。兵庫医科大学病院で2年間の初期研修を終えた後の2010年、私が入局した後に大病が発覚し、僅か2年あまりの2012年6月21日に他界されました故小森慎二教授(享年56歳)を師事して兵庫医科大学産科婦人科学講座に入局しました。その後、後任の柴原浩章教授に導かれ明和病院、篠山医療センター、デンマークのコペンハーゲン大学に留学などを経て、兵庫医科大学の講師に就任することができました。入局勧誘の際の小森教授

の言葉「教授になったばかりや10年間は面倒みたる。毎年国際学会にいかしたる。留学でも何でもさせてやる。行きたい病院で研修させてやる。君は自由なんや。」を懐かしく思います。現在、若年がん女性の妊孕性温存に関する臨床・教育・研究を実施しています。これからも兵庫医科大学の発展と、それを担う人材の育成に力を注ぎたいと思います。引き続き、ご指導ご支援を何卒よろしく申し上げます。



産科婦人科学

講師 加藤 徹 (平成20年卒業)

令和2年4月1日より兵庫医科大学産科婦人科学講座の講師を拝命いたしました。私は平成20年に本学を卒業し、兵庫医科大学病院での初期臨床研修の後、平成22年より当院産科婦人科学教室に入局いたしました。入局後、大学では産婦人科領域全てのハイリスク症例を、関連病院の生長会府中病院では主に周産期医療を学ばせていただき、ささやま医療センターでは地域医療を学ばせていただきました。平成25年に大学復職後は主に周産期領域、不妊症手術、生殖補助医療を中心に診療させていただいております。平成27年から兵庫医科大学大学院へ入学さ

せていただき、「子宮内膜症発症と免疫学的機構の関与」をテーマに同学免疫学講座で基礎研究をさせていただき、学位取得もさせていただきました。今後も患者さんの立場に寄り添い、高水準の診断、治療を提供していけるように精進していく所存です。当院での治療により、妊娠した患者さんを、その後も引き続き分娩管理まで当院で統合して行う事で、患者さんに最後まで安心して治療を受けられるとさせていただけるよう努めていきます。今後ともご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。



消化器内科学内視鏡センター

講師 河野 友彰 (平成15年卒業)

令和2年5月1日より兵庫医科大学消化器内科学内視鏡センターの講師を拝命いたしました。

平成15年に本学を卒業し、兵庫医科大学病院で初期研修を2年間行い、その後、同内科学下部消化管科入局、西宮協立脳神経外科病院内科を経て、現在消化器内科学に所属しています。

主に機能性消化管疾患と逆流性食道炎、早期消化管癌の内視鏡治療、消化器領域の癌や難病を対象とした診断と治療に従事しています。特に入局後から現在まで、カプセル内視鏡やバルーン内視鏡を用い

た小腸疾患の診断と治療に従事させて頂き、早期大腸癌に対する内視鏡治療である大腸ESDにおいては、平成21年に高度先進医療として当院での立ち上げの時期から関わることができ経験を積んできました。今後も専門性を活かした低侵襲な診断・治療を心掛け、内視鏡を用いた様々な希少疾患に対する研究や、教育の現場における後進の指導など、兵庫医科大学の更なる発展に尽力して参りたいと思います。今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。



消化器内科学

講師 近藤 隆 (平成16年卒業)

令和2年5月1日付けで、兵庫医科大学消化器内科学講師の辞令を拝命いたしました。私は平成16年に本学を卒業し、兵庫医科大学病院で初期臨床研修を修了した後、内科学上部消化管科に入局いたしました。大学院では、第2解剖学教室(現解剖学講座神経科学部門)で野口学長のもと、内臓痛関連の研究につき勉強させていただきました。その後、三輪教授から、海外留学の機会を二度もいただきました。

その後は、兵庫医科大学内科学消化管科(現 消化器内科学)で臨床と合わせて、機能性消化管疾患の消化器症状発現メカニズムの解明を目指したトランスレーショナル・リサーチを続けております。今後も、臨床と研究に、より一層兵庫医科大学のために努力いたす所存でございますので、ご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。



循環器・腎透析内科学

講師 貴島 秀行 (平成19年卒業)

令和2年5月1日付けで兵庫医科大学循環器・腎透析内科講師を太城理事長先生より拝命いたしました。私は、学生時代は野球部に所属し、平成19年に本学を卒業し、本学での初期臨床研修後に循環器内科に入局いたしました。入局後、先代の増山教授に急性期医療を学びたいと相談し、りんくう総合医療センターで2年間、主に虚血性心疾患に対するカテーテル治療について学びました。循環器内科医としての基礎を学び、平成21年から本学にて不整脈診療を開始しております。それまで不整脈に対するカテーテル治療

を勉強する機会が少なく、不整脈に関しては素人同然でしたが、石原教授、朝倉教授、峰先生の指導の下、現在にいたるまで精進して参りました。循環器領域の中で不整脈、特に心房細動は高齢者の10人に1人は認めると言われる“common disease”であります。高齢化社会に伴い、不整脈に対するカテーテル治療のニーズは年々高まっております。これからも不整脈診療を通じて、本学に貢献できるように努力していきたいと思っておりますので、今後ともご指導の程よろしくお願い致します。



呼吸器・血液内科学
講師 大 搗 泰 一 郎 （平成19年卒業）

令和2年6月1日付けで呼吸器・血液内科学の講師Aを拝命いたしました、大搗泰一郎と申します。私は平成19年に本学を卒業後、兵庫県立がんセンターでの2年間の初期研修、兵庫県立加古川医療センター内科での1年間の後期研修を経まして、平成22年4月に本学へ戻り、当時の呼吸器・RCU科に入局し、肺癌・中皮腫を中心に臨床に従事して参りました。また、平成28年末から3年半にわたり兵庫医科大学ささやま医療センターで勤務

する機会を頂戴し、これまで経験のなかった在宅診療や感染制御の業務に触れ、貴重な経験をさせていただきました。この度、木島貴志主任教授の御厚意により、改めて本学で勤務する機会を頂戴いたしました。まだまだ微力ではございますが、母校の発展に尽力する所存でございますので、今後ともご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

ラグビー部創部50周年記念OB会(予告)

日時：2022年(令和4年)6月4日 17:00から

会場：ホテル阪急インターナショナル

宝塚市立病院副院長・整形外科主任部長
森山徳秀(昭和63年卒業)

7. 兵庫医大教授に就任された先生から 緑樹会会員へメッセージ



麻酔科学・疼痛制御科学
教授 狩谷伸享

2020年5月1日付けで麻酔科学・疼痛制御科学講座の臨床教授を拝命しました狩谷伸享と申します。この度は緑樹会の先生方にご挨拶の機会を頂戴しまして感謝申し上げます。

私は1992年に大阪市立大学医学部を卒業し、大阪市立大学大学院医学研究科では西信一先生の御指導のもと局所麻酔薬の肝代謝の研究をしました。その後大阪市立大学在外研究員としてフランス共和国 Faculte de Medecine du Kremlin-Bicetreで局所麻酔薬の心筋毒性の研究をしました。帰国後は大阪市立大学麻酔・集中治療医学教室で勤務し、2007年から兵庫医科大学でお世話になっております。

フランスの産科麻酔の経験から、産科麻酔に興味があります。日ごろは周産期センターのみなさまからのご指導を受けながら、麻酔科医が周産期医療のお役に立てるようなことを考えています。

2013年からは超緊急帝王切開のシミュレーショントレーニングを手術センターや周産期センターのみなさんと始めました。また、廣瀬宗孝先生のご指導のもと2012年に学内外の麻酔科医向けの「産科麻酔に参加しよう」セミナー(第1回は兵庫医大3号館4階 III-3講義室)を開催さ

せていただき、関西と関東で交互に年1回定期的に産科麻酔のエキスパートとともに勉強しています。

現在は産科麻酔のシナリオシミュレーションコースを医療人育成研修センターのご支援をいただきながら兵庫医大と聖路加国際大学を中心に開催しています。助産師さん、看護師さん、産婦人科の先生を対象にした日本母体救命システム普及協議会(J-CIMELS)の母体急変対応コースも兵庫医大と全国の施設で開催させていただいています。

新しいことに取り組む兵庫医大の自由な学風と太城力良先生が育てこられたシミュレーション教育があってこそその成果です。兵庫医大にお世話になって良かったと感じております。

医学生のみなさんや若い先生方に安全な麻酔と危機管理を伝えることで兵庫医大にささやかながら恩返ししたいと思います。きっと若い先生の中から将来の兵庫医大の手術室を守ってくれる方が出てくれると信じています。

微力ながら兵庫医大のために精進させていただきます。

みなさまのより一層のご指導を宜しくお願い申し上げます。

8. 兵医のころを後輩に



私の忍耐力・根性と、その源流

公立豊岡病院 消化器科
部長 上田 通雅 (昭和63年卒業)

昭和63年卒、上田と申します。兵庫医大の事を語るうえでクラブ活動のことを抜きには語れません。私は準硬式野球部に半ば強制的に入部させられました。「たかが医学部の野球部」という甘い考えを持っておりました。顧問は故、下山第4内科教授、監督は化学の藤田先生(後に兵庫医療大学副学長)、入部してみると予想外の厳しさ、やくざな世界が待っておりました。当時は熱中症という概念がなかったのでしょうか(笑)、猛暑の中、水一滴も飲まずの練習、またストレスのためか吐血した部員は第4内科で内視鏡を受け、その際の内視鏡写真が第4内科の教科書に採用されました。このような状況でありましたが私の同期は辞めることなく全員がレギュラーとして西医体出場を果たしました。このクラブ活動を通じて大切な球友を得るとともに忍耐・根性を培うことが出来ました。

私は現在、兵庫県の北部、但馬地域唯一の基幹病院である公立豊岡病院に勤務しております。大学医局の引き上げによって一時閉鎖されていた豊岡病院消化器科に招聘されたのが約10年前、当時3名で消化器科を再開しましたが緊急疾患も多く過酷な勤務でありました。おかげで私は持病の大腸憩室炎を半年おきに発症、しかしながら仕事に穴をあけることもできず絶食・抗菌剤投与・輸液をしな

がら仕事を続けました。このような状況でありましたが兵庫医大での厳しい学業やクラブ活動で培った忍耐・根性のお陰で乗り切れたものと考えております。

兵庫医大を卒業して30年超、私は県の養成医でありましたので直接、大学と関わることはあまりなかったのですが定期的に送られてくる「緑樹会会報」や「兵医広報」を毎回楽しみに拝読しております。そして臨床・研究分野での母校のめざましい活躍、また学生においては非常に高い国試合格率など大変誇らしく感じております。これも先人の努力の積み重ねのたまものと推察いたします。

数年前、兵庫医大を訪れることがあったのですが学生当時にはなかった平成記念会館・急性医療総合センターなどが増築され、その激変ぶりに驚きを感じました。また当時、学んだ講義室なども現在は様変わりしたとお聞きしております。時の流れとともにスタッフ・建物などは変わっていきますが兵庫医大魂は脈々と受け継がれていくものと思います。母校の活躍に刺激をいただきながら私も与えられた任務を果たしていくとともに若い先生に少しでも熱意を継承していきたいと思っております。

最後になりましたが、このような機会を与えていただきました石藏会長・緑樹会スタッフの皆様へ深謝申し上げます。



心身医学と総合診療の融合を目指して

関西医科大学 心療内科学講座 診療講師
 関西医科大学附属病院 総合診療科 科長

西山 順 滋 (平成9年卒業)

平成9年卒の西山順滋と申します。母校の同窓会誌より原稿の依頼をいただき、大変光栄に存じております。石蔵会長及び関係の皆様は厚く御礼申し上げます。

在学中(4回生)の平成7年1月17日、阪神淡路大震災を経験しました。阪神高速から「落ちないバス」を下から見上げた光景が今も忘れられません。連日連夜、震災関連のニュースが流れる中、日が経つにつれ「心のケア」、「心療内科」といったワードが耳に入ってきました。心療内科と精神神経科は異なる診療科です。残念ながら兵庫医大に「心療内科」はなく、関西医科大学に心療内科があることを知り、5回生の夏休みに見学をし、自分の進む道と決めました。

卒業後、京都第二赤十字病院で内科スーパーローテート研修を受け、平成11年に関西医科大学心療内科に入局。平成15年に滋賀医科大学医学部附属病院総合診療部より声がかかり、総合診療/プライマリ・ケア/家庭医療の世界に足を踏み入れました。6年半、滋賀医大に在籍し、平成22年より関西医科大学附属病院で勤務しております。

「心療内科」は「心身医学」を臨床現場で実践する診療科です。「心身医学 psychosomatic medicine」とは、「患者を身体面とともに心理面、社会面(生活

環境面)をも含めて、総合的、統合的にみていこうとする医学」と定義されており、年齢、性別、臓器に関わらず心身両面から診断、治療を施す分野になります。「心の関与も含めて診療する内科」が「心療内科」です。

一方、わが国の総合診療部門は、「専門化・細分化しすぎた医療の中で全人的に人間を捉え、特定の臓器・疾患に限定せず多角的に診療を行う部門」として、米国や英国における“General practitioner(GP)”をベースに立ち上げられました。2018年にスタートした新専門医制度では、「総合診療専門医」が基本領域に加えられました。総合診療部門を受診する患者の15~53%は医学的に説明ができない症状(Medically Unexplained Symptoms : MUS)に該当するとの報告があります。その中には心理社会的要因が深く関与する病態を有する方が多く含まれ、心身医学的な視点・治療が有用とされており、総合診療部門で心療内科医が力を発揮できる領域と自負しております。今後も「心身医学と総合診療の融合」をテーマに、診療、研究、教育にあたっていく所存です。

私以外にも兵庫医大卒業生で心身医学の分野で活躍されている先生方がいらっしゃいます。ご興味がありましたらいつでもお声かけ下さい。



理事長就任に際して

特定医療法人ダイワ会
理事長 中村 佳照 (平成11年卒業)

緑樹会の皆様、こんにちは。平成11年卒業の中村佳照と申します。私は平成11年卒業後、平成12年に母校の整形外科教室に入局しました。その後、研修医を終えた後に、色々な関連病院で勤務し、医師として整形外科医として非常に貴重な経験を積ませて頂き感謝いたします。

平成23年に医局を離れ、現在のダイワ会(大和中央病院、整形外科医師として)に入職いたしました。少し当院の紹介をさせていただきます。当ダイワ会グループは、大和中央病院(大阪市西成区に立地しており病床数は190床)、南部花園館(大阪市西成区立地、介護施設：100床)、大和病院(北摂地区の中心部の1つである吹田市の江坂に立地しており病床数は171床)、垂水デイサービス(吹田市)を営む特定医療法人で、所在地域の住民に包括的な医療及び介護サービスを提供することを目的に運営を行っております。平成29年6月1日より前理事長の後を継ぎ、特定医療法人ダイワ会新理事長を拝命いたしました。ダイワ会の前理事長が、33年にわたり粉骨碎身されここまで成長したダイワ会を拝受するのは、身の引き締まる思いでいっぱいです。それと同時に、私にそのような大任が務まるのか不安を感じております。現在は新型コロナウイルスの影響もあり、非常に厳しい状況が続いており、消費が落ち込むなど景気の先行きに対する不透明感が急速に広がり、世界的にも今後厳しくなる事が予想され、病院を取り巻く環境の悪化に直結

する問題にもなります。この社会状況を考えますと、ダイワ会がこのまま安泰で過ごすことは難しいかもしれません。しかし、社会、医療情勢がいかに変化しようとも、ぶれない軸を持ち地域の方々から信頼され選ばれる病院となるべく高度で良質な医療を提供し、近隣の病院や診療所、施設との連携を一層緊密にしています。

現在は、大和中央病院の入院患者、外来、手術を行っており、兵庫医科大学整形外科教室、橘俊哉教授、中山寛医局長のご配慮にて、西尾先生、大石先生が常勤医でまた、大和病院には、中尾先生が非常勤医師として来て頂いており大変助かっております。これからは、私自身、今まで学んだ事を継続、活かし、職員の方々一同含め、皆様方の力の輪を結集し患者様、利用者様のニーズに応えられるような医療、介護サービスを提供しながら運営し職務に精励していきます。緑樹会の先生方には、引き続き一層のご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。





眼科海外医療支援 アイキャンプ

眼科学

助教 荒木 敬士 (平成20年卒業)

緑樹会員の皆様、平素よりお世話になっております。眼科の荒木と申します。このような機会を与えていただきありがとうございます。この機会に眼科海外医療支援について少しご紹介させていただきます。

学生時代、アジア独特の人間らしいシンプルな生活や熱気ある市場、そこを歩き交う人々に魅了され、いつか仕事を通じても訪れたいと思っていました。そんな時、TV番組の情熱大陸で、経済的に厳しく、治療を受けられずに失明する人々に対し、無償で手術を行うベトナムで活動する眼科医の特集をみて、これだと思いました。

加齢とともに起こる白内障は、日本では当たり前のように手術を行います。世界の失明原因としては第1位(約50%)の疾患となっています。手術を行えば回避可能ですが、貧困や社会的状況により手術ができない人々が多いのが実情で、WHOでも報告されています。そういった地域で、無償の白内障手術を行う活動

をアイキャンプと呼び、日本でもいくつかの特定非営利活動法人(NPO法人)が活動しています。活動資金や必要な医療物資は、個人や企業からの寄付ですべて成り立っています。私は、眼科医局の大先輩の松本英樹先生がかつて参加されていたNPO法人のアジア眼科医療協力会(AOCA)のメンバーとして、2013年より毎年活動させていただいております。活動場所は、インド北部のダラムサラで、ここは1954年に中国支配下のチベットからダライ・ラマ14世が亡命したチベット亡命政府の本拠地となります。最貧困層のインド人、チベット難民が暮らし、特殊な政治的、社会的背景があり、白内障手術を受けられない人々が住んでいます。首都デリーから500km、車で約12時間かかるため遠いですが、標高1800mに位置し、美しい山脈が見渡せ、街には僧侶たちが行き交う、チベット文化の色濃い楽しいところです。

参加メンバーは年度により異なりますが、去年は医師3名、看護師1名、コーディネ



ダラムサラの風景



患者さんに術前説明を行うチベット人ナース

ネーター1名の計5名の少数精鋭メンバーで行いました。機材は顕微鏡を現地でレンタルする以外、手術器具、医療物資(ナイフ、薬剤、眼内レンズ等)をすべてメンバーで持ち込むため大変です。亡命政府の管轄する病院で活動を行っていますが、病院と言っても結核病棟中心で、医師は全員で2.3名程度の小規模な施設で眼科医は不在となっています。現地のチベット人ナースやスタッフはとても協力的で活動しやすく、毎年再会するメンバーとは仲良くなりました。手術では、同い年のチベット人ナースが外回りについてくれるのですが、今では喋らずとも足りない薬剤や眼内レンズが準備されるほどに成長し、感動すら覚えます。

日程は、1日目が白内障のスクリーニング目的の外来で約200人の患者さんを診察します。患者さんはチベット語か、ヒンドゥー語しかわかりませんが、チベット人ナースがそれを英語に翻訳してくれながらの診察となります。続いて手術は3日間に分けて70名程度行います。電力の供給が不安定ですのでたまに停電

したり、必要物品がなかったりと、様々なハプニングが起きたりしますが、そこにあるもので工夫するしかなく、みんなで協力して乗り越えるのが楽しくなってきます。術後診察では、言葉が違うためコミュニケーションがとりづらいですが、身振り、手振りで患者さんからの感謝の気持ちがとてもダイレクトに伝わってきます。もちろん全員ではありませんが、白内障手術は術後すぐに患者さん自身が、“見える”という形で結果がわかるのでわかりやすいと思います。なぜアイキャンプに行くのか、人のために何かをするというよりも、自分が現地で得ることができる何かがあるからかもしれません。白内障手術により喜んでもらえるのはもちろんですが、さらには現地の人との交流、文化、食事に触れる楽しみが大きいのだと思います。

最後になりましたが、このような活動に参加できるのはAOCA関係者の皆さまのご協力、医局の先生方のご理解があるおかげです。この場を借りてお礼申し上げます。もしご興味をお持ちの方がいらっしゃったらホームページもあるのでぜひ見て下さい。今後ともよろしくお願い申し上げます。



手術風景：介助なしで一人で執刀します



術後の患者さんたち

9. 留学体験記



アメリカ留学記

Minneapolis Heart Institute Foundation
福井美保（平成19年卒業）

兵庫医科大学を卒業後、兵庫県の養成医として9年間地域医療に従事したのち、2017年10月より米国に留学しています。大学病院在籍時は、心エコー、心不全を中心に臨床および臨床研究を行っていました。現在は上司であるDr. Joao L. Cavalcanteの元で、心臓弁膜疾患における multimodality imaging (CT、MRI、エコー) を用いた研究を行っています。ここ近年の心臓MRI・CTの技術進歩により、以前と比べ心臓の状態をより詳細に評価できるようになってきています。日々の多くは、画像解析に時間を費やしていますが、集めたデータを解析し Clinical question に対する答えを探していく過程は、日常臨床とはまた違った楽しさがあります。渡米前は、私には研究は向いていないのではないかと悩んでいました。そんな時に恩師が「まずは研究の世界にどっぷり浸かってから判断してもよいのでは」とアドバイスしてくださり、思い切って飛び込んでみることにしました。そして現在、自分でも驚くほど、臨床研究の世界にはまっています。

渡米した当初は、Pennsylvania州にある University of Pittsburg に所属していましたが、上司である Dr. Joao の異動と共に、2018年9月からは Minnesota 州にある Minneapolis Heart Institute Foundation の Cardiovascular Imaging Research Center & Core Lab に在籍しています。当施設は医学の持続的発展の為には、臨床医が日常臨床と同時に、臨

床研究も継続して行っていくことが必要であるという理念のもとに設立されており、そのための環境が整備されています。弁膜症に対するカテーテル治療のハイボリューム施設であると同時に、多くの治験を主導および多施設研究に参加しており、そのための医師以外のスタッフが多数所属しています。

渡米以来、充実した研究生活を送ることができ、道程2000kmに及ぶアメリカ国内引越しをやり遂げ、この度のコロナ禍でも何とかこちらでの生活を継続できています。その全ては家族の理解・協力、上司や同僚・職場のサポートがあってこそだと心から感謝しています。夫は同じく兵庫医科大学の整形外科医局所属ですが、休職し帯同してくれており家庭の事を一手に担ってくれています。最後になりますが、私達を支えてくださっている多くの方々に心から感謝し、また帰国した際には何らかの形で恩返しができるように、引き続き頑張っていきたいと思えます。



Dr. Joao (左端) と Core Lab メンバー



ジョージア州、オーガスタへ留学して

循環器・腎透析内科学

助教 堀松 徹雄（平成21年卒業）

2009年（平成21年）卒業の堀松徹雄です。私は、医療法人川崎病院での初期・後期研修終了後、2013年4月から大学の循環器内科・冠疾患科で血管内治療チームの一員として在籍し、主に急性心筋梗塞や閉塞性動脈硬化症と診断された患者の血管内治療に携わっていました。約8年間の臨床を経て、2016年10月よりアメリカで基礎研究をすることになりました。

留学先はアメリカ南東部、ジョージア州のオーガスタにあるMedical College of Georgia at Augusta Universityです。オーガスタは、自然が豊かで、ゴルフメジャーであるマスターズトーナメントの開催地として有名であり、マスターズの時期だけは全米、全世界中から大勢のギャラリーが集まり、街が賑やかになります。

このような環境のなか、私の留学生活が始まりました。オーガスタ大学のVascular Biology Centerには様々なラボが所属しておりますが、私が留学したのはDr. WeintraubとDr. Kimが主導しているラボでした。最初の研究テーマは、「血管周囲の脂肪組織の全身への影響」でした。私は基礎研究に不慣れで、最初はマウスの扱い方や蛋白電気泳動、PCRなど学ぶべきことが山積みでしたが、唯一の手技である脂肪移植モデル作製では臨床経験で培った技術を活かすことができました。何よりも問題であったのは、英語でのコミュニケーションでした。渡米前に英会話教室に通っていましたが、本場の発音を聞き取れず、語彙力も不足しており最初半年間は非常に苦しかったです。1年半が経過し、英語にも少しは慣れてきたところで、最初の研究テーマが形になり、次のテーマである腹部大動脈瘤に移行しました。腹部大動脈

瘤は局所の大動脈壁内の炎症が原因ですが、外科的治療しか治療法がなく、内科的に薬物を使用し炎症を抑える方法を、大動脈瘤マウスモデルを使用し研究しました。留学期間は2年間の予定でしたが、大学医局の了承やオーガスタ大学からの雇用のサポートもあり、最終的に3年半も基礎実験に携わることができました。留学3日目には、施設内でPostdoctoral Fellow Recognition Awardも受賞することができ、大変有意義で悔いのない研究生活を送ることができました。

私生活では、アメリカ南東部に住むことで、サウスカロライナ州のチャールストンやフロリダ州のオーランドなどの日本からは直行便がなく行きにくい都市にも車でさっと行くことができ、休暇を楽しみました。またアメリカならではのThanksgiving HolidayやChristmas partyなどを家族や親戚と過ごすことができ、素晴らしい体験でした。もちろん、オーガスタでのゴルフライフも充実していました。

最後になりますが、この留学をするにあたり、循環器内科学前教授の増山理先生、循環器・腎透析内科学主任教授の石原正治先生、そしてご指導いただきました循環器内科の先生方に厚く御礼を申し上げます。本当に有り難うございました。



ラボの上司、学生達とともに

10. アスリートを支える



U19ラグビー日本代表チームドクターを経験して

兵庫医科大学病院 整形外科
木島和也 (平成23年卒業)

平成23年卒業、兵庫医大整形外科の木島和也と申します。

この度は緑樹会会報への寄稿の機会を頂きありがとうございます。

アスリートを支えるという点では日常診療に加え、ラグビー競技を中心にチームドクター、マッチドクターとして関わらせて頂いております。

この度、日本ラグビー協会より指名頂き2018年-2019年の2年間、U19ラグビー日本代表のチームDrとして遠征に帯同する機会を与えて頂きましたので報告させて頂きます。

活動はセレクション合宿・直前合宿等の数回の国内合宿、及び2週間の遠征です。2018年はアイルランド、2019年はウェールズへ遠征しました。

遠征に先立って、持っていく医療物資を選定したり現地の病院の場所を調べたりと初めての事ばかりで大変だったのを覚えています。いざ、遠征に行くと整形外科的な外傷よりも内科的な問題の方が多かったです。2018年は2度現地の病院を受診しましたが、2019年は医局で購入して頂いているポータブルエコーを持参したおかげで病院に行く必要はありませんでした。遠征先での医療は私がまだまだ未熟だったこともあり非常に難しかったです。

現地で感じたことに、ピッチ上での医療体制の充実があります。どの試合会場にもピッチに2名の救命士、2台の救急車が用意されていました。昨年行われた

ワールドカップの際、選手用の待機救急車が2台だった事を考えると高校生の試合に同じ環境が用意されているというのは選手にとっては最高の環境だと思ったと同時に、これがラグビー強豪国におけるピッチサイドメディカルのスタンダードなのだと感じました。またプレマッチミーティングでは心肺停止時にピッチではCPRを1クール行ってから搬送するといった細かい事まで事前に決めていたことに驚きました。レフェリーがピッチ上での怪我の評価・対応に十分時間を割いてくれるというのもplayer firstだなと感じました。

アスリートを支えるためには直接的な医療はもちろん、選手が安全に安心してプレーできる医療体制の構築も重要なのだと感じました。

初めて胸に桜のマークをつけて過ごした時間はとても緊張感のある刺激的な時間でした。この経験を今後も活かしていきたいよう努力していきたいと思います。

最後になりましたが長期の出張を許して頂きました医局の先生方には感謝申し上げます。



11. 医局紹介

循環器・腎透析内科学 (腎・透析内科)

循環器・腎透析内科学

助教・医局長 八尋真名 (平成13年卒業)

緑樹会会員の皆様、平素より大変お世話になっております。日頃より当科の診療に格別のご支援、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

2019年8月に内科学 腎・透析科、循環器内科・冠疾患科は統合され、2020年4月より循環器・腎透析内科学となりました。今号では前号の循環器内科に引き続き、腎・透析内科について紹介させていただきます。

当科はそもそも開学当初より兵庫医科大学病院の中央診療部門として人工透析部が設置されたところから始まりました。1976年に人工透析部の体制が確立し、1986年に藤田嘉一診療教授が就任し、1991年11月に腎臓病学および透析療法の教育並びに研究を目的とした腎透析学の初代教授として高光義博教授が就任致しました。2004年からは中西健教授が内科学 腎・透析科主任教授として医局を牽引し、透析領域における研究では、腎性貧血治療における鉄代謝に関して国内外に多くの成果を発表し、入局者も増え、同門会員数は110名を超えるまでになっ

ています。そして、現在は倉賀野隆裕教授のもと、血液浄化センターの運営及び腎臓病学における診療、研究、教育にあっています。

診療としては、各種腎疾患の早期診断及び治療、急性腎障害や慢性腎不全(保存期)の治療、末期腎不全患者への透析導入及び管理、透析患者の合併症治療、体液・電解質異常の診断と治療、様々な自己免疫疾患や肝疾患、臓器移植前後に必要な特殊血液浄化法を各科と連携をとりながら積極的に行っています。

また腎機能障害者は多くの合併症を抱えており、多くの薬剤や疾患により腎機能障害をきたしやすいため、内科医として幅広く患者を捉えることができるよう指導することにも腐心しています。

これからも多くの病院や施設、クリニックと連携しながら診療体制を充実させていきたいと考えております。腎疾患でお困りの患者様がいらっしゃいましたら、是非とも当科までご紹介頂ければ幸いです。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



ささやま医療センター

平素よりささやま医療センターの診療、運営にご協力いただき誠にありがとうございます。

緑樹会会報でも続けてささやま医療センターの医局紹介に紙面を割いていただき恐縮です。前号までに片山院長、岡山先生、有井先生、井上先生、峰先生から病院の沿革や特徴などはすでに述べられていますので、今回は私個人が普段の診療で感じることなどを述べさせていただきます。

私自身はリハビリテーション科を専門としておりますが、ささやま医療センターでは地域総合医療学という形で多くの科の先生方と一緒にさせていただいております。このシステムの良いところは同じ医局で毎日顔を合わせているので、自分の担当患者さんで困ったことがあればすぐに相談できる場所と感じています。高齢の患者さんで重複障害を抱えている方も少なくないため非常に助かっています。同様に他の先生方からもリハビリテーションや退院調整などで相談を

受けることもあります。

また、ささやま医療センターの特徴として大学病院でありながら急性期・回復期・生活期を切れ目なく見ることが出来る点があると考えています(これは特にリハビリテーション科医としての視点かもしれませんが)。医療の花形はどうしても急性期治療となりがちですが、患者さんの生活に寄り添う生活期医療にも大きなやりがいがあります。そして、最終的に急性期をメインとして活躍される先生にとっても、一連の流れを診る経験はその後の診療において非常に有益であると考えます。

私の故郷が田舎であることも影響していると思いますが、非常に落ち着く環境であり、この地域をより良くしていきたいと常に感じております。これからも兵庫医科大学卒業生としてささやま医療センターを盛り上げていきたいと思っておりますので、緑樹会の皆様も変わらぬ御指導・御助力の程よろしく願いいたします。

地域総合医療学

金田好弘 (平成21年卒業)

12. 研修医たより

研修医を経て

卒後臨床研修センター

西村 壮太（平成31年卒業）

私はH31年4月より兵庫医科大学病院にて初期臨床研修をさせて頂いており現在2年目になります。今回このような場にて執筆させていただく機会を頂きありがとうございます。私が今までの研修を通して得た経験や感想を、稚拙ながら書かせていただきたいと思います。

私が兵庫医科大学病院での研修を選択させていただいた理由としましては、やはり出身大学ということが大きく、また医師の数が多く高度で専門的な医療を学び、経験出来る環境であると考えたからです。そして期待を胸に、研修医としての生活をスタートさせましたが初めは患者様との関わり方ひとつを取っても戸惑う事が多く、また点滴もろくに一人で取れず何もできない状態にとっても不安な日々を過ごしておりました。

しかし、4・5月は内分泌内科、6・7月は消化器内科をローテートさせて頂き、幸いにも大変親切な指導医の先生方と出会う事ができ、多忙な業務の合間にすごく丁寧に御指導していただき徐々に研修医としての生活に慣れていくことが出来ました。

そのように研修医1年目を過ごしていく中で、私が最も印象に残っている診療科は救急救命センターです。人の生死を間近に感じる機会も多く、研修医として成長できた場であるのではないかと感じております。

当院救命センターは西宮市の三次救急を担っており、搬送される患者様の4割

程度は交通外傷によるものです。重症度の高い患者様が多く搬送され、中には残念ながら救う事の出来ない命も存在します。突然大切な人を失う御家族を見ると、助ける事が出来ない無力さを痛感すると同時に何も助ける手段を持たない自分に悔しさを抱く日々でした。そんな中、救急の先生方と治療にあたっていく中で、助かる可能性が非常に低いとされていた患者様が、自分の足で歩いて退院されていく姿を見る事がこんなに嬉しい事なんだと感じ、今後もひとりでも多くの命を救いたい、ひとりでも多くの笑顔が見たい、そう強く思うようになりました。

現在、将来の診療科に関してはまだ決定していませんが、どの診療科に進む事を第一に考え、真摯に行動できる医師になることを心に誓い、日々自己研鑽を積み今後の医師としての道を歩んでいきたいと思っております。



宝塚市立病院

古川彩帆（平成31年卒業）

初期研修医2年目の古川彩帆と申します。平成31年に本学を卒業し、宝塚市立病院にて研修医として勉強させていただいております。

昨年4月から研修医生活がスタートし、あっという間に2年目に突入しました。1年目の先生からの質問に刺激を受けながら、日々を過ごしています。

研修医として働き始めた当初は、慣れない環境のせいもあり、病院と自宅の往復でぐったりでした。採血ひとつするのに緊張し、周りを血だらけにしたりと大騒ぎでした。今では、完璧ではありませんがある程度の手技にも慣れつつあります。

ここまでの研修生活を通して、印象的だった患者さんのお話をしたいと思います。もともと呼吸器科に興味があり、呼吸器内科をローテートしている際に再発気胸の患者さんがおられ、担当させて頂いておりました。自身の病状や今後の方針は家族に任せるの一点張りで、検査の同意書も内容は全く読まずにサインだけするといった様子でした。肺機能が悪く手術は希望されていませんでしたが、内科的な治療をしてもリークは止まらず、いよいよ手術しかないという時に、丁度私のローテートする科が呼吸器外科に変わりました。土日も含め毎日ドレーンバッグとにらめっこしながら、その方と

お話をしている内に、手術に関しては自分で話を聞きたいと仰って下さいました。「先生も手術に入ってくれるのですよね。前から診てもらっている先生がいてくれるとすごく安心します。」と言われて、もちろんですと返しました。そして手術が無事終わり、リークのないドレーンバッグを見ながらお話ししている時、こう言われました。

「麻酔から覚めた時、先生の顔が見られて本当に安心しました。ところで先生の外来は何曜日ですか。退院してから外来は先生にお願い出来ませんか。」と。私は研修医で外来をもっていないこと、ただ時間の自由はあるので次の受診日に外来に伺うことは可能なことを伝えました。そして、外来受診の際にお目にかかることを約束して退院されました。

患者さんに言われて、こんなに嬉しいことはないと思いました。研修医の利点は、良くも悪くも時間の融通が利くところだと思います。忙しい中でも患者さんと向き合ってお話しする時間は削ってはいけないと思います。私はこの患者さんと出会って、医師という職業を選んで本当に良かったと心から思いました。

最後に、このように研修医生活を振り返る機会を与えて頂いたことに感謝申し上げます。

13. 大学院研究日記



自立支援介護の取り組みとCOVID-19 (新型コロナウイルス感染症)

株式会社ポラリス 代表取締役
医療法人社団オーロラ会 森クリニック 理事長・院長
地域総合医療学 非常勤講師
森 剛 士 (平成8年卒業)

今回からいよいよ！「自立支援介護」に関する取り組みや研究計画について書かせていただく予定でした…。ところが2020年はCOVID-19(新型コロナウイルス感染症)一色となってしまいました。この原稿を書いている6月現在は都道府県をまたぐ移動が解禁されましたが、特効薬やワクチンは存在せず、このウイルスと共存するしかない現状です。そんな今こそ、自立支援介護が大事であることをお伝えしたいと思います。

ポラリスでは、高齢者の自立に着目し、デイサービスで自立支援介護を提供しています。とりわけ「自分の足でしっかりと歩いて」いただくことを重視しています。

歩くことは生きること、といったら驚かれますか？それほど、自立した生活に歩くことは大切と考えています。新型コロナウイルスが広がる前から、歩けない方、寝たりきりの方にご自身で歩いていただき、自分らしい生活を送っていただくためのケアを実践してきました。

コロナ禍ではこの「歩く」という行為が脅かされています。なぜなら人間には感染が怖くて外出を控えるという、危険を回避しようとする本能があるからです。Stay homeが呼びかけられていたの

で出歩くのを控えていた人が多いと思います。その事自体は仕方がないことです。しかし、外出を控えることで、歩かない、体を動かさない生活が続くことは大きな問題です。なぜならば、歩かなければ歩けなくなるからです。

高齢者が歩けなくなるのは「下肢筋力の低下」が原因と考えられがちです。それは本当でしょうか？例えば、皆さんがピアノを習っていたとします。ピアノは練習をしなくなると弾けなくなります。それはどうしてでしょうか？指の筋力が低下したからでしょうか？もしそうだとしたら、握力を鍛えたら再びピアノを上手に弾けるようになりますか？残念ながら、握力を鍛えてもピアノは弾けるようになりません。再び上手にピアノを弾けるようになるためには、再びピアノを弾くしかありません。このあたりは「運動学習理論」で説明できます。

運動学習理論の特徴は2つです。マスターしたい動作そのものを何度も繰り返すこと。(歩くことでいえば、歩く動作を繰り返す)そうすると脳に歩くための回路が出来上がります。2つ目は、その運動をやめるとせっかくできた回路が消えていくことです。歩けるようになったら、歩くことをやめてはなりません。

ポラリスでは、歩ける方には歩き続けていただけるように、歩けなくなってしまった方には、歩くことで歩き方を思い出してもらうようなケアをしています。

コロナ禍では、歩く機会が極端に減って、日本中、世界中の高齢者が歩けなくなり、介護度が高くなり、介護費用の増大を招くのではないかと危惧しています。

古くは阪神大震災、東日本大震災において、震災前には元気に歩き回っておられた高齢者の方々があっという間に歩けなくなることを知っています。

歩けなくなると、身の回りのことのうち自分でできることが極端に減ります。そうすると元気がなくなり、夢を失い、

あっという間に介護される側になってしまいます。

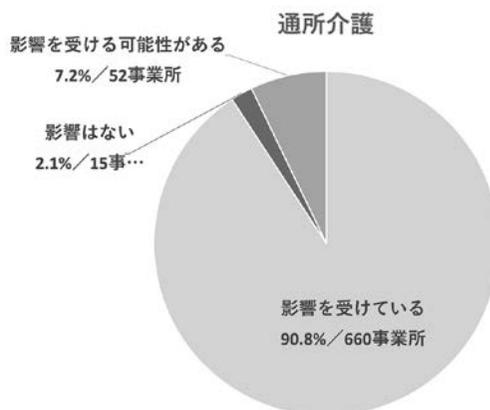
そうならないために、感染防止に最大限配慮しながらも、デイサービスへお越しいただいたり、来ることが困難な方のご自宅に伺ったりしながら、自立支援介護を提供しています。

第1波が落ち着いた今こそ、高齢者を元気にする取り組みの正念場だと思っています。

今回は、自立支援介護のうち、歩くことの次に大事な、水分摂取について書かせていただきます。

また、高齢者を元気にする取り組みと、大学院生としての研究との関係について書かせていただきます。

経営への影響



14. 兵庫医大50周年へ向けて

アーカイブズ室資料のご紹介【大学祭】

兵庫医科大学 学務部
アーカイブズ室

アーカイブズ室では兵庫医科大学にかかわる資(史)料を収集・展示しています。兵庫医科大学の創設以来、大学の大小さまざまな物語の中から、歴史の一握りをすくいあげご紹介することで兵庫医科大学の魅力をお伝えできればと思います。

《第1回 大学祭 アルバム》

アーカイブズ室に展示している第1回大学祭(1972年11月22日)のアルバムです。

表紙には「兵庫医科大学 第1回 大学祭」の文字が丁寧に並んでいます。開学8ヶ月で行われた体育祭、秋晴のグラウンドに全力で楽しむ学生の写真とともに森村茂樹先生(当時 理事長)、山田肇先生(当時 学生部長)のあいさつなどが収められています。

展示キャプションにはアルバムに収められている角野喜六先生(英語学)撮影の写真を使用しました。



アーカイブズ室展示のアルバム



展示キャプション



第1回大学祭ご案内

《大学祭(医(醫)聖祭)》

大学祭(医(醫)聖祭)は時代の潮流に乗って音楽祭、ダンスパーティー(ゴーゴーパーティー)、軽音楽部コンサート、模擬店、医学展示等の様々な企画を催してきました。

第3回大学祭においては新しい企画として、講演会、園遊会が行われました。園遊会は、元森村茂樹先生宅の庭にて開催され、西宮市在住の名士を来賓に招き、ご父兄、教職員、学生も交え和やかな雰囲気の中で行われました。バザーはご父兄、先生方のご協力を得て予想以上の収益を上げることができ、この収益の一部を社会福祉施設へ寄付させていただきました。

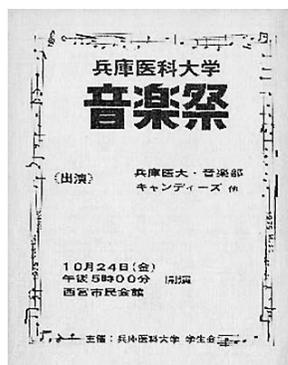
その後、第10回大学祭から「医(醫)聖祭」と名づけることになりました。ヒポクラテスを指す「医(醫)聖」の名から、立派なものにしていこうという学生の熱い情熱が感じられます。20周年記念冊子(発行 兵庫医科大学学生会)には「私たちは「醫聖祭」の名のもとでこれからも、小さい大学ながらも医学部としての特色と伝統を活かした大学祭をめざして行きたい」と記されています。

第44回(2015年(平成27年)11月21日、22日)からは教育研究棟建設に伴い、メイン会場を5号館南側の中庭から平成記念会館に移して開催しています。

参考：笥のたより 第2号 昭和50年2月8日 発行 兵庫医科大学 父兄懇談会
兵庫医科大学誌 通巻 第5号 昭和50年3月15日 発行 兵庫医科大学
兵庫医科大学広報 第53号 昭和56年10月20日 発行 学校法人兵庫医科大学 事務局 総務部
学校法人兵庫医科大学広報 2016年1月25日 発行 学校法人兵庫医科大学 経営企画室 広報課
20周年記念冊子 発行 兵庫医科大学学生会 学生会常任委員会



第3回 兵庫医科大学大学祭 第1回園遊会
1974年(昭和49年)10月26日



第4回 兵庫医科大学音楽祭
1975年(昭和50年)10月24日



第48回 醫聖祭2019年(令和元年)11月2、3日



醫聖祭プログラム(第37、38、39、42、44、45回)

15. 緑樹会リモートセミナー開催報告

地域救急医療学

特任准教授 岡山明洙 (平成9年卒業)

緑樹会会員限定のwebセミナー(緑樹会リモートセミナー)を開催しましたので報告いたします。

【きっかけ】皆様ご存知のように2020年になり新型コロナウイルス(COVID-19)の蔓延、パンデミックにより日本国内の緊急事態宣言という大変な状況が生じました。学会・研究会は軒並み延期中止を余儀なくされていました。その中で、上久保靖彦先生が研究された結果を報告され(2020/04/17)、それがマスメディアにも注目されることになりました。

【準備】常任理事の保科先生に相談し、今「流行り」のリモートセミナーで緑樹会会員の先生方に報告していただくことと提案したのが5月25日でした(自身のLINEの記録より)。早速石蔵会長に諮り承諾を得たのが数日後でした。情報がフレッシュなうちということも必要ですが、当の上久保先生のご都合の調整、会員の先生方への周知、セミナーを開催するにあたっての使用ツールの選定等を検討しました。

学校法人兵庫医科大学としてMicrosoftと包括契約している関係があり、兵庫医大教職員がホストであれば時間制限がないことで、小生がホストとして会議(セミナー)

を立ち上げることになりました。

周知の方法：メーリングリスト、facebookの非公開グループでの案内。(案内がなかった方には申し訳ありません)

登録：申し込みは緑樹会に集約、登録は小生がコピーペーストで入力、さしあたりライブ聴講を優先、追いかけて配信は急ぎ案件ではないので(ホストであることを若干後悔しました。。。。)。

【当日】2020/6/18 17:30開始というまだ業務を終わっていない方もおそらくいらっしまったと思いますが、ライブのセミナーには約50組が参加されました。開始とともに録画を失念することなく開始できました。追いかけて配信用の録画はできていましたが、その共有の手段がわからず、事務局の桜庭さんにあらゆる手段を模索していただきました。無事入力いただいたアドレスに共有することができました。(hyo-medアカウントには、はねられたケースが多数あったようで、個人アドレスに共有しました)

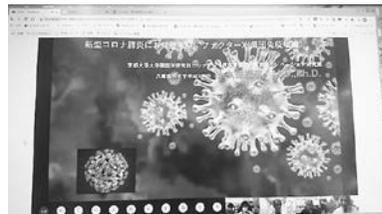
【最後に】現在動画は保存しており、今号発行後いずれかのタイミングで削除も検討しています。動画閲覧希望される方は事務局までお問い合わせください。

緑樹会会員限定クロードセミナー

日時：2020年6月18日

演題：新型コロナ肺炎における考察：ファクターX(集団免疫理論)

講師：京都大学大学院医学研究科 特定教授 上久保靖彦





京都大学大学院医学研究科
特定教授 上久保靖彦（平成8年卒業）

武漢で発生した新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)は、パンデミックを引き起こしましたが、なぜ国毎に重症度や致死率が違うのか、特になぜ日本の死亡率が低いかは謎です。我々は、SARS-CoV-2には最低3つの型：S型、K型、G型があることを発見しました。これらの型は、伝染性と病原性が異なり、それぞれの国でどの型がどの程度流行したかが、国毎に感染の頻度や重症度が異なる原因となりました。インフルエンザウイルスの流行曲線へのSARS-CoV-2の干渉が、S型とK型のSARS-CoV-2の日本への到来を明らかにしました。インフルエンザに感染すると、SARS-CoV-2に感染しなくなります。これをウイルス干渉と呼びます。先駆け(Sakigake, S)であるS型は、無症候性も多い弱毒ウイルスなので、インフルエンザに対する干渉も弱く、2019年12月23日の週にインフルエンザ流行曲線にわずかな偏向を残しました。それから変異したK型は、無症候性～軽症で、日本のインフルエンザ流行曲線が大きく欠ける(Kakeru, K)結果を2020年1月13日の週に起こしたため、我々はこれを検出しました。武漢においてさらに変異した武漢G型は、重症の肺炎を起こすため、1月23日に武漢は閉鎖されました。上海で変異したG型は、最初にイタリア、その後欧米で流行しました(欧米G型)。日本政府は、3月9日まで入国制限を武漢に限りしました。結果、S型とK型は中国全土から日本に流入・蔓延し集団免疫を

成立させました。K型に対する細胞性免疫は、G型への罹患を防ぐため、日本での死亡者は少なく、一方、欧米諸国(米国、イタリアなど)は、中国からの渡航を2月1日より全面的に制限したため、K型の流入は大きく制限されました。S型が広がっていた時期には渡航制限が無かったため、S型はかなり欧米に蔓延しました。ところが、S型への細胞性免疫はG型の感染を予防する能力が乏しく、S型への抗体には抗体依存性免疫増強(ADE)効果があるため「S型への抗体によるADE」と「K型への細胞性免疫による感染予防が起こらなかったこと」の組み合わせにより、欧米でG型感染の重症化が起り、致死率が上がりました。インフルエンザに対するSARS-CoV-2のウイルス干渉を数値化したrisk scoreの分布を見ると、COVID-19の死亡率が日本では低く、ヨーロッパ諸国によって異なることが予測され、米国で死亡率が増加する可能性がわかります。SARS-CoV-2感染症の致死率を予測する方程式は、パンデミックでの逆説的な感染ダイナミクスの理解を助け、どう行動したら良いかを指し示します。私たちが開発したウイルス干渉を利用した検出ツールや、致死率を計算する方程式は、新興感染症やバイオテロを早期に検出し、社会への影響を予測し、効果的な治療アプローチと効果的な集団免疫を導く地域政策を導くに役立つでしょう。

16. 新規開業医紹介

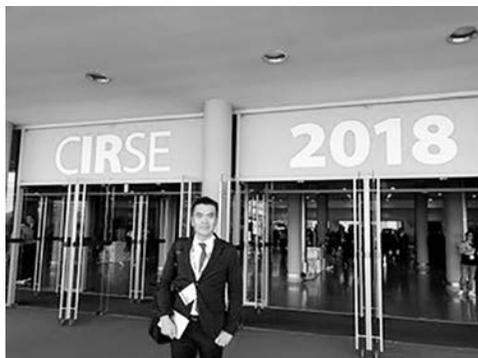


痛みをカテーテルで治療する！

オクノクリニック神戸三宮院
院長 澁谷 真彦（平成16年卒業）

2019年6月に三宮で開業しました。私は2004年に兵庫医科大学を卒業後、循環器内科を専攻し、2017年まで大学病院を主に勤務していました。専門は冠動脈カテーテル治療でした。カテーテルは開胸手術に比べると低侵襲で安全性も確立されてきている治療です。そのカテーテルを使って、近年痛みを治療しているということを知りました。膝や肩の痛みを抱えた患者さんは沢山いますが、その痛みの原因は十分には解明されていませんでした。しかし近年研究が進むにつれて、痛みがある部位には新生血管と、それに随伴する神経が増えている事がわかってきました。その増えている血管が痛みの維持に重要な役割を果たしていると考えられおり、カテーテル治療はその血管を直接塞栓することによって、痛みを減らす、という画期的な治療方法です。私は2017年にこの治療を知り、とても興味を

もちました。そして、横浜のオクノクリニックでこの治療を見学し、患者さんの痛みが劇的に改善していくのを見て、この治療は次世代の痛み治療の主流になる、と確信をもちました。この治療は毎年海外のIVR学会で注目されており(写真は毎年参加、発表しているヨーロッパでのCIRSEという学会です)、アメリカ、ヨーロッパ、南米の多くの国で、治療が行われています。横浜のオクノクリニック(院長の奥野先生はこの治療を専門にして2017年10月に横浜で開業されており、私は開業当初から一緒に働いておりました)で勉強を経て、2019年6月からオクノクリニック神戸三宮院院長として勤務しています。当院は完全自費診療で行っており、カテーテル手術を日帰りで行っています。今後精進していきたいと思いますので、よろしくお願いします。





尼崎市に『やすみつクリニック』を開業

やすみつクリニック

院長 安光亮洋（平成17年卒業）

私は平成17年卒業後、兵庫医科大学病院で卒後臨床研修を受けました。2年間の研修で多くの悪性疾患の患者さんを担当し、その治療や進行過程、社会背景などに興味を持ち兵庫医大呼吸器内科に入局しました。中野孝司前教授のもと肺癌や悪性胸膜中皮腫の診断や治療で多くの勉強をさせていただきました。しかし、内科医が診る癌は進行し最期を迎えてしまうのが現実でした。大学病院で最期を迎えることは難しく、保存的加療となると後方病院へ転医となります。その様な患者さんが気になり、大学で勤務した後、後方病院へ夜診/当直に行き担当患者さんと最期まで接することにやりがいを感じておりました。

平成23年には西淀川区の愛仁会千船病院に出向しました。大学病院とは異なり昼夜問わず様々な患者さんが救急来院され、多種多様な疾患で最期を迎える方が多くおられることに気づかされました。特に御高齢の方は入院退院を繰り返すことが多く、もう少し身近なところで医療を実践できないかと、このころより在宅訪問診療に興味を持ち始めました。

平成27年より藤井寺市にある医療法人浩清会ナワタクリニックに入職しました。機能強化型在宅療養支援診療所で、様々な疾患で通院困難な方や終末期の患

者さんの居宅や施設へ定期訪問を行い、状態悪化時にはご本人やご家族の希望に合う形でご自宅や施設での対応を行いました。在宅では、少しの変化でも病院受診を希望される方もおられますし、先が短くなるとしても慣れ親しんだ場所での生活継続を希望される方もおられます。24時間対応の緊急往診体制、年間100例近くの看取り対応をチームで行い、ご本人やご家族の思いに寄り添いながら共に考え、それぞれの希望に合った治療方針の選択を行って実践するという多くの経験を積むことができました。

この度、令和元年8月に尼崎市神田中通(尼崎中央商店街)に在宅療養支援診療所としてやすみつクリニックを開業しました。現在、西淀川～西宮の範囲で訪問診療を行っております。呼吸器内科木島教授や呼吸器外科長谷川教授からご指導をいただき、兵庫医大の先生方とも連携を取りながら病院から在宅へと切れ目のない医療を実践しています。この1年で30件の在宅看取りも行いました。患者さんのご自宅まで赴くことが可能であるのは私達の最大の強みと思っております。建学の精神である『人間への深い愛』を心に刻み、社会貢献が出来る様に努めて参りたいと思います。



このたび新規開業しました

しらき整形外科クリニック
院長 白木孝人 (平成5年卒業)

このたび令和2年2月1日伊丹市で新規開業しました平成5年卒業の白木と申します。緑樹会同門の先生方よろしくお願ひ申し上げます。小生は同年兵庫医科大学整形外科学教室入局。大学病院にて初期研修後、公立浜坂病院、宝塚市立病院勤務。平成8年から兵庫医科大学病院勤務。大学では主に脊椎外科を専攻し臨床業務に従事。また大学院では「脊髄損傷のメカニズム」について研究しました。平成11年から明和病院勤務。平成12年から宝塚市立病院勤務。平成19年医局に開業したい旨をお話しさせていただき、色々と開業場所を探していました。しかし、なかなか良い開業場所が見つからない頃、大学の同級生であり向山病院(枚方市)の理事長である多田正知先生に「開業する場所が見つかるまで当院を手伝ってくれないか」とのお誘いを受けました。それまで常勤医としては大学病院、明和病院、宝塚市立病院などの総合病院でしか勤務経験のなかった自分としては、将来開業するまでに実際の身近な地域医療の現場で勤務する事は有意義であると考え、平成20年から向山病院勤務。その後約12年間にわたりお世話になりました。しかし小生の最終目標が父の影響もあり開業であったため、今回志しを尊重していただき、令和元年12月向山病院を退職。

そして令和2年2月ご縁があり、伊丹市にて新規開業をすることとなりました。当クリニックは地域の皆様にとって身近なかかりつけ医になる事を目標に安全、安心できる医療を提供させていただく事はもちろんですが、予防医学にも積極的に取り組んでいきたいと考えております。具体的には一般整形外科疾患の治療をはじめ、骨粗鬆症の予防、早期発見、治療評価に体位を変えずに腰椎部と大腿骨近

位部を同時に測定できる最新の骨密度測定装置(DEXA)を導入しました。また整形外科の分野においても非常に有用である超音波装置を取り入れ、手足などに発生する皮下腫瘍、軟部腫瘍、ガングリオン等のサイズ、内容物、血流評価や関節リウマチの診断や治療に関して関節滑膜炎、骨びらん等の検出。スポーツ整形外科では筋、腱、靭帯等の軟部組織損傷、軟骨損傷、亀裂骨折などの診断に用いています。またリハビリテーション治療においては、運動器リハビリテーション科Ⅱならびに脳血管疾患等リハビリテーションⅢの施設基準適合クリニックとして理学療法士(3名)が在籍し、日常生活動作やスポーツ動作を取り戻すため、リハビリテーション治療を積極的に行っています。

最後に今回入会させていただいた伊丹医師会は吉村史郎会長をはじめ、副会長、理事に兵庫医科大学出身の先生方が非常に多く在籍されておられます。令和2年5月からは医師会内の3つの委員会(労務厚生委員会、介護保険委員会、調査企画委員会)に所属させていただき、開業して間もない新参者ですが、微力ながら医師会の活動にも積極的に取り組んでいきたいと考えています。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。



第3回緑伊会総会



尼崎武庫之荘でペインクリニック開業

すけながペインクリニック
院長 助 永 憲 比 古 (平成20年卒業)

平成20年卒の助永憲比古です。2020年4月に兵庫県尼崎市武庫之荘で、痛み治療に特化した「すけながペインクリニック」を開院いたしました。兵庫医大の麻酔科に入局し、大学病院や宝塚市立病院で手術麻酔を中心に研修を行いました。痛み治療の面白さ、重要性を実感し、また開業医の父(2期生)の姿を見ていたので、自分もいつか外来診療がしたいという思いも強くペインクリニックの道に進みました。大学では外勤日以外のほぼ毎日、外来診療を担当させていただき、神経ブロックや脊髄刺激装置の埋め込み手術など、様々な痛みの治療法を学びました。

ペインクリニックは少しずつ認知されるようになってきましたが、どうしようもない痛みの治療を行う診療科といったイメージが強いのではないのでしょうか。対象となるのは、実はそこら中にある「痛み」で、筋骨格系の痛み(肩こり、五十肩や椎間板ヘルニア、脊柱管狭窄症などの整形疾患に対する保存的加療)や帯状疱疹に代表される神経痛、がん性痛など、急性痛から慢性痛まで様々です。神経ブロックを主体に鎮痛剤や漢方、心理的ア

プローチ、理学療法などで集学的に治療を行っています。

近年はエコーの進歩のおかげで神経や筋肉を同定してのブロックが可能で、肩こりや腰痛に対する筋膜リリース(筋肉と筋肉の間の膜に生理食塩水などを注入する方法)など、新しい治療概念も生まれています。

当院の特徴としてはエコー装置の導入はもちろん、クリニックとしては珍しく、Cアーム透視装置を導入しておりますので、透視下神経ブロックもすぐに来るので、臨機応変に痛みの治療が可能です。急性痛に対しては出来るだけ早期に完治及び慢性痛に移行しないように、慢性痛に対してはADL、QOLが少しでも改善するように心がけております。

日常生活動作や心理面に大きな弊害をもたらす「痛み」を治療することで、人生100年時代、できるだけ笑顔で健康的な生活が送れるように微力ながら尽力したいと存じます。近隣の先生方や病院、もちろん兵庫医大とも連携しながら、地域医療に少しでも貢献できるよう努めて参りますので、指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

17. 掲示板

緑樹会オリジナルスクラブ ～好評販売中～

株式会社エイチ・アイでは、会報誌No.76(2020.03.31発行)の表紙で緑樹会会員の先生方にご着用いただきました緑樹会ロゴ入りオリジナルスクラブを、会員様向け特別価格で販売しております。刺繍パターンは4種類、スクラブのカラーとサイズは豊富に取り揃えております。お好きな組み合わせでお気に入りの1着をオーダーされてはいかがでしょう。ご注文は弊社ホームページにて承っております。

皆様のご注文を心よりお待ちしております。

【刺繍イメージ】



※会報誌No.76(2020.03.31発行)表紙より

■ホームページ<緑樹会会員様専用ページ>
<https://www.hi-hyogo.com/ryokujuukai/>
※ユーザー名、パスワード hi456676 です。



お問い合わせ先
株式会社エイチ・アイ(1号館6階) 事業部
TEL : 0798-45-6656 / FAX : 0798-45-6676
Email : hi@hi-hyogo.com

※株式会社エイチ・アイは学校法人兵庫医科大学が100%出資の事業法人です

Facebookはじめました 第2報

緑樹会広報

岡山明洙 (平成9年卒業)

緑樹会会員の皆様、こんにちは。2019年9月、Facebookの非公開グループを開設しました。参加されている先生方のご存知のように、開設当初200名以上の参加をいただき、その後もこの会報をご覧になった先生方の加入もあり、311名(2020年7月末時点)の参加をいただいております。

橋主任教授就任後の整形外科同門会の様子や、上久保先生の画期的かつセンセーショナルな報告などタイムリーなトピックスもあり、定期的に皆さんより投稿いただきました。

また、これに派生して上久保先生のリモートセミナー開催のアナウンスなど、緑樹会のメーリングリストと連動して有機的に情報共有できているかと思えます。

現在、緑樹会会員数4300名を超え、学年だけでなく、縦のつながりもよりできればと存じ上げます。Facebookで“緑樹会～兵庫医科大学同窓会～”と検索いただき、参加申し込みいただければ管理人の誰かが承認すれば参加いただけます。

併せてFacebookの公式ページも開設しておりますので、検索いただき行事の確認もしていただきたいと思います。

前回にも申し上げましたが、「SNSはめんどくさい」という方もいらっしゃると思いますが、「どなたかの投稿を見るだけでいい、それを見て1日1回兵庫医大を思い出してもらえれば」という保科理事の熱い思いで運営しております。

《Remind HCM, and Remember HCM》にご賛同いただければぜひご参加ください。



支部会開催のご案内

前号で掲載した内容に変更がありましたのでお知らせいたします。

	日程	内容
中止	令和2年10月9日(金)	神々しまね緑樹会総会
検討中	令和2年10月17日(土)	緑川会総会
中止	令和2年11月14日(土)	緑尼会総会
中止	令和2年11月22日(日)	大分総会、福岡総会、九州沖縄合同同窓会
中止	令和2年11月28日(土)	関東支部会総会
中止		緑丹会総会

※詳細は各支部にお問い合わせください

※掲載内容は、令和2年7月末日までに緑樹会事務局に連絡をいただいている情報です

編集長コラム

緑樹会会員の皆様へ

皆様、こんにちは。会報誌の編集長をしております常任理事の橋本昌樹です。前号ではラグビーワールドカップに本学OBが多数参加していたことを特集し大きな反響がありました。今号からは2年後に控える創立50周年に向けての企画を盛り込んでおります。50周年に向けて様々な企画を考えておりますのでお楽しみください。

さて緑樹会広報員会では昨年にFacebookアカウントを開設したくさんの卒業生に閲覧頂いております。このようなデジタル化の進む中で、アナログな広報誌の立ち位置も考えていかねばなりません。本会報誌のコンセプトである、1)会員の国内外での活躍を皆で共有する。2)本学の現状と将来についての情報を広く会員の中で共有する(特に学外の方へ)。3)会員相互の親睦を深めるtoolの一つとなる。といった事項はFacebookでも同様であります。記事の「速報性」「重要性」「企画性」などを考慮し、Facebookとの棲み分けも考えながら誌面を充実させたいと考えております。

また世間はCOVID-19による大混乱を受け、face to faceの関わりが制限されるという人類が今まで直面したことのない状況を迎えております。このためZoomに代表されるようなコミュニケーションソフトウェアの充実が進み、人が集まらなくとも会議や飲み会ができるようにもなりました。これは考え方を変えると、西宮から遠く離れたところにお住いの先生方にも緑樹会活動にご参加いただけるチャンスではないでしょうか!?この広報誌をご覧いただきご興味を持っていただけますと幸いです。会員の皆様には原稿執筆の依頼等でお手数がかかることもあるかもしれませんが、ご無理のない範囲でご協力をお願いします。また会報作成にご興味のある方がおられましたら(緑樹会理事でなくてもOK)緑樹会事務局までご連絡ください。最後になりましたが、充実した会報誌を皆様にスムーズにお届けするためにも少々経費が必要です。年会費未納の方におかれましては会費を納入いただけますようよろしく願い申し上げます。

令和2年9月
緑樹会常任理事
橋本昌樹(平成17年卒)

18. 法人懇話会の報告

第三回を迎え、真にお互いに胸筋を開いての懇話会、コロナ禍をものともせず、5月27日、全員マスク着用の下、2022年・創立50周年を含め、有意義な話し合いを行いました。要旨については以下のとおりです。

緑樹会常任理事
保科幸次（平成3年卒業）

第3回緑樹会役員と学校法人兵庫医科大学との懇談会（記録）

日 時：2020年5月28日（木） 午後5時～5時50分

場 所：第1会議室（10号館2階）

出席者：石藏（緑樹会会長）、黒田（緑樹会副会長）、飯島（緑樹会副会長）、
保科（緑樹会常任理事）、清水（緑樹会理事）、
太城（理事長）、野口（学長）、阪上（病院長）、池内（副学長）
佐々木（事務局長）、甲斐（事務局次長）、中村（学務部長）

欠席者：大江（緑樹会副会長）

■本日の懇談テーマ

1. 逆紹介のための緑樹会と近隣医師会の連携について提案

逆紹介の際に患者さんの希望する地域で緑樹会会員等の医院を探す際、住所のみを頼りに探すのが困難なため、地図上にプロット表示するなど電子カルテを更新できないか提案

- 現在、電子カルテはセキュリティの関係もありネット接続できないので、地図を表示させるのは難しい
- 医師の持つ携帯をスマホ化するので、ネット接続は現在想定していないが、将来的にはそちらで参照可能になる可能性はある
- 各医師会や緑樹会支部会で医院がプロットされた媒体があれば、PDF化して掲載するのは現時点でも可能と思われる

2. 新型コロナ関連

議題提供者の大江副会長が欠席のため割愛

- 対応患者数および、コロナ関連の通知一覧を会議資料として配布

3. 50周年記念事業の現在の大学側の進捗

兵庫医科大学創立50周年記念事業（骨子案）により、記念行事の開催、DVD作成、募金事業の推進などを進めている

- 記念行事は2022年3月26日に開催予定
- 記念事業推進体制の確立が急務であり、緑樹会役員にも記念事業委員会、下部委員会である記念事業推進委員会、記念事業募金推進委員会に参画いただく
- 50周年記念事業に向けて様々な媒体に利用するため、記念事業のロゴ作成が急務
- 2大学統合広報についてコンサルを依頼予定のため、記念事業ロゴも検討事項に含める

4. 緑樹会総会

総会の開催は10月24日(土)を予定

- 新型コロナウイルスの感染拡大状況に鑑み、WEB配信も検討中
- 大学が休みの土曜日のため、職員に多数参加いただけるかが課題
- 参加者増加に寄与するため同日に産業医研修会開催に向けて調整中
- 会場は平成記念会館で検討中

5. エイチアイへの協力要請

緑樹会より緑樹会スクラブ販売サイトの協力を依頼している

- 4月の緑樹会会報に販売サイトのURLを掲載していたが繋がらない状態である
- 定年退職に伴う担当者の変更により、事務連絡が十分にできていなかった
- 現状、6月早々にはアップできるよう準備を進めている

6. その他

・阪神バスの兵庫医科大学乗り入れの進捗状況について

- バスを乗り入れる場合は阪神電車沿線の車道を一方通行にする必要があり、その件で近隣住民からの反対が見られ難航している

・大阪梅田ツインタワーズ・サウスウェルネスプロジェクトの進捗状況について

- 運営について若葉会から(株)総合メディカルに変更となった
- 一般的なクリニックの入居よりも大学病院の専門外来的なものを希望されている
- 母体の阪神グループの広告を緑樹会の広報に出稿してもらえないか理事長からコンサル(株)ソシオンヘルスマネジメント)に打診する

次回の懇談会は2020年11月26日(木)17:00~開催することとなった。

懇談会后、「千穂」にて懇親会を開催予定(新型コロナウイルスの感染拡大状況による)

以上

19. 理事・支部会一覧

■緑樹会役員名簿

役 職	担当	氏 名	卒業年	勤 務 先
会 長	会長	石 藏 礼 一	昭和57	神戸市立医療センター中央市民病院
副 会 長	企画	大江 与 喜 子	昭和53	上ヶ原病院
副 会 長	公益	黒 田 佳 治	昭和54	医療法人社団黒田クリニック
副 会 長	渉外	飯 島 尋 子	昭和58	兵庫医科大学消化器内科学
副 会 長	学術	武 田 正 中	昭和59	兵庫医科大学脳神経内科学
常任理事	総務	田 村 和 朗	昭和53	桜橋渡辺病院遺伝子診療センター
常任理事	公益	中 川 一 彦	昭和56	医療法人甲風会有馬温泉病院
常任理事	総務	廣 田 誠 一	昭和59	兵庫医科大学病理学病理診断部門
常任理事	企画	高 橋 敬 子	平成 1	兵庫医科大学医療クオリティマネジメント学
常任理事	総務	岡 田 昌 也	平成 2	兵庫医科大学呼吸器・血液内科学
常任理事	広報	橋 科 幸 次	平成 3	ほしな眼科クリニック
常任理事	広報	保 本 昌 樹	平成17	兵庫医科大学呼吸器外科学
常任理事	広報	川 上 り か	平成19	CVPath Institute, Inc.
理 事	学術	羽 竹 勝 彦	昭和54	奈良県立医科大学法医学教室
理 事	学術	松 本 強 彦	昭和57	尼崎中央病院脳神経外科
理 事	学術	若 林 一 郎	昭和57	兵庫医科大学環境予防医学
理 事	学術	辻 村 亨 彦	昭和58	兵庫医科大学病理学分子病理部門
理 事	学術	夏 秋 優 彦	昭和59	兵庫医科大学皮膚科学
理 事	学術	池 内 浩 基	昭和62	兵庫医科大学消化器外科学
理 事	学術	戸 田 和 夫	昭和62	戸田内科・脳神経内科
理 事	学術	蓮 池 由 起 子	平成 3	兵庫医科大学医学教育センター／腎・透析内科
理 事	企画	末 廣 謙 彦	昭和53	西宮市医師会診療所
理 事	企画	伊 福 秀 貴	昭和54	尼崎中央病院
理 事	企画	吉 岡 優 彦	昭和63	医療法人社団優会よしおかクリニック泌尿器科
理 事	企画	清 水 聡 一 郎	平成 2	清水クリニック
理 事	公益	直 江 寿 一 郎	昭和53	旭川圭泉会病院
理 事	公益	大 門 勝 史	昭和53	大門医院
理 事	公益	平 田 俊 吉	昭和53	平田循環器・内科
理 事	公益	池 田 晴 彦	昭和54	池田眼科
理 事	公益	吉 村 史 郎	昭和54	吉村耳鼻咽喉科
理 事	公益	片 山 覚 彦	昭和54	兵庫医科大学ささやま医療センター
理 事	公益	村 上 眞 彦	昭和55	村上眼科医院
理 事	公益	氏 家 裕 明	昭和56	氏家クリニック
理 事	公益	岡 本 祐 二	昭和56	岡本医院
理 事	公益	藤 島 宣 彦	昭和56	藤島クリニック
理 事	公益	横 山 元 裕	昭和56	横山医院
理 事	公益	田 口 恵 造	昭和57	たぐちクリニック
理 事	公益	柴 田 亮 平	昭和57	柴田診療所
理 事	公益	田 中 久 志	昭和58	たなか耳鼻咽喉科医院
理 事	公益	長 坂 肇 彦	昭和58	長坂医院
理 事	公益	松 本 司 彦	昭和61	まつもとクリニック
理 事	公益	木 村 亜 紀 子	平成 6	兵庫医科大学眼科学
理 事	公益	栗 林 康 造	平成 7	兵庫医科大学呼吸器・血液内科学
理 事	公益	橋 本 篤 徳	平成16	橋本外科医院
理 事	広報	服 部 益 治	昭和53	医療福祉センターさくら
理 事	広報	児 玉 岳 彦	平成 2	医療法人社団児玉医院
理 事	広報	丸 茂 幹 雄	平成 6	兵庫医科大学環境予防医学
理 事	広報	岡 山 明 洙	平成 9	兵庫医科大学地域救急医療学
理 事	広報	富 田 寿 彦	平成 9	兵庫医科大学内視鏡センター／消化器内科学
理 事	広報	笠 間 周 平	平成10	兵庫医科大学脳神経内科学
理 事	広報	松 井 左 千 子	平成14	尼崎中央病院
理 事	広報	右 近 亮 介	平成27	友愛会病院
理 事	渉外	林 孝 之 彦	昭和54	桜橋渡辺病院附属診療所
理 事	渉外	東 前 隆 司	昭和55	医療法人社団東前医院
理 事	渉外	山 本 茂 宏	昭和55	山本医院
理 事	渉外	吉 田 裕 彦	昭和62	(医)朋倍会吉田クリニック
理 事	総務	藤 盛 好 啓	昭和54	上ヶ原病院
理 事	総務	近 藤 俊 一	昭和59	近畿大学医学部外科学教室乳腺内分泌科部門
理 事	総務	河 中 祐 介	平成22	兵庫医科大学放射線医学
監 事		成 瀬 均 彦	昭和56	兵庫医科大学医学教育センター
監 事		深 田 正 代	昭和58	撫順医院

■支部会一覧

全国の緑樹会支部をご案内いたします。

支部会に未入会の先生はぜひ近隣の支部にご連絡ください。

支部名	会長	卒業年	連絡先
学内 (緑兵会)	廣田 誠一	昭和59	hiros@hyo-med.ac.jp
北海道	直江寿一郎	昭和53	keisenkai@keisenkai.or.jp
東北	氏家 裕明	昭和56	uj-clinic@rice.ocn.ne.jp
関東	平田 俊吉	昭和53	hirata-clinic@doctor.so-net.ne.jp
京都 (京都緑樹会)	東前 隆司	昭和55	松井道宣 (昭和58) matsui@kujohp.or.jp
奈良 (緑奈会)	池田 晴彦	昭和54	中谷真士 (平成3) mnakatan@wa2.so-net.ne.jp
大阪 (大阪緑樹会)	山本 茂宏	昭和55	八木由奈 (平成5) yagi-ped@hera.eonet.ne.jp
尼崎 (緑尼会)	伊福 秀貴	昭和54	ifuku@chuoukai.or.jp
西宮 (緑西会)	大江与喜子	昭和53	吉岡優 (昭和63) mail@yoshioka.clinic
神戸 (神戸緑樹会)	村上 眞	昭和55	清水聡一郎 (平成2) souichimisa@me.com
宝塚 (宝樹会)	大門 勝史	昭和53	石本栄作 (昭和55) hdc6030@hcc1.bai.ne.jp
伊丹 (緑伊会)	吉村 史郎	昭和54	山本裕信 (平成3) hiyam1964823@hotmail.co.jp
川西・猪名川町 (緑川会)	田口 恵造	昭和57	洪基浩 (平成1年) kou@feel.ocn.ne.jp
兵庫北部 (緑丹会)	片山 覚	昭和54	岡山明洙 (平成9) okayama@hyo-med.ac.jp
和歌山 (緑和会)	松本 司	昭和61	sp7x6my9@tea.ocn.ne.jp
明石	戸田 和夫	昭和62	expert@k2.dion.ne.jp
淡路島 (淡路島緑樹会)	柴田 亮平	昭和57	倉本賢 (昭和61) m.kurachan@beach.ocn.ne.jp
岡山 (岡山緑樹会)	岡本 祐二	昭和56	川口光彦 (昭和57) nqp02936@nifty.com
福岡 (福岡緑樹会)	田中 久志	昭和58	土屋隆之 (平成1) tsuchiyaseikei@gmail.com
大分 (緑分会)	藤島 宣彦	昭和56	TEL:097-573-5777 nob-fuji@khaki.plala.or.jp
鳥取 (鳥取緑樹会)	橋本 篤徳	平成16	atsunori@hashimotogeka.link
島根 (神々しまね緑樹会)	横山 元裕	昭和56	中山真美 (平成9) kennaonatsuno@yahoo.co.jp

20. 緑兵会会員名簿

所属科	氏名	卒業年	
循環器内科	高橋 敬子	平成 1	
	合田亜希子	平成 9	
	内藤 由朗	平成 9	
	正木 充	平成11	
	赤堀 宏州	平成15	
	奥原 祥貴	平成17	
	今仲 崇裕	平成18	
	江口 明世	平成19	
	貴島 秀行	平成19	
	三木孝次郎	平成19	
	堀松 徹雄	平成21	
	東 晃平	平成22	
	織原 良行	平成22	
	正井久美子	平成22	
	真鍋 恵理	平成22	
	木村 俊雄	平成23	
	吉原 永貴	平成23	
	太田 佳宏	平成24	
	大門 愛加	平成24	
	谷仲 厚治	平成24	
	田中 孝昌	平成25	
	砂山 勇	平成26	
	松本 祐樹	平成26	
	杉谷 味保	平成30	
	富永 拓矢	平成30	
	西垣 圭祐	平成30	
	血液内科	日笠 聡	昭和62
		岡田 昌也	平成 2
		澤田 暁宏	平成 7
		徳川多津子	平成12
宇都宮惟人		平成30	
平田 早希		平成30	
アレルギー・リウマチ内科	松井 聖	昭和58	
	東 直人	平成11	
	森本 麻衣	平成15	
	古川 哲也	平成22	
	安部 武生	平成23	
	東 幸太	平成25	
	中野 真依	平成25	
	大野 裕子	平成30	
糖尿病・内分泌・代謝内科	楠 宜樹	平成16	
	小西 康輔	平成16	
	松尾 俊宏	平成18	
	角田 拓	平成21	
	三好 晶雄	平成24	

所属科	氏名	卒業年	
糖尿病・内分泌・代謝内科	大杉 敬子	平成25	
	大東 真菜	平成25	
	森本 晶子	平成25	
	井上 真希	平成26	
	小池 新平	平成28	
	福本 和泉	平成28	
	玉井 宏介	平成29	
	五明 祐介	平成30	
	肝・胆・膵内科	飯島 尋子	昭和58
		池田 直人	平成 7
會澤 信弘		平成12	
高嶋 智之		平成16	
楊 和典		平成19	
高田 亮		平成21	
長谷川国大		平成22	
由利 幸久		平成22	
岸野 恭平		平成25	
郡山 隆志		平成25	
霜野 良弘		平成25	
植嶋 哲也		平成29	
藤原 葵		平成30	
消化管内科		富田 寿彦	平成 9
	河野 友彰	平成15	
	近藤 隆	平成16	
	奥川 卓也	平成18	
	小川 智広	平成19	
	田村 彰朗	平成21	
	原 謙	平成21	
	江田 裕嗣	平成22	
	河中 真紀	平成22	
	池田 仁美	平成23	
	中井 啓介	平成23	
	堀川 知紀	平成24	
	森 すみれ	平成24	
	三重野将敏	平成26	
	森下 大輔	平成26	
	岡村 政道	平成30	
炎症性腸疾患内科	横山 陽子	平成12	
	上小鶴孝二	平成14	
	河合 幹夫	平成18	
	佐藤 寿行	平成20	
	賀来 宏司	平成29	
呼吸器内科	横山 恵子	平成30	
	栗林 康造	平成 7	
	三上 浩司	平成19	

所属科	氏名	卒業年
呼吸器内科	大搦泰一郎	平成19
	柴田 英輔	平成21
	柵木 芳樹	平成23
	亀井 貴雄	平成29
	東山 友樹	平成29
脳神経内科	武田 正中	昭和59
	笠間 周平	平成10
	山本 麻未	平成19
	西 将光	平成26
	平塚 真理	平成29
	藤原史奈子	平成29
総合内科	山崎 博充	平成20
腎・透析内科	蓮池由起子	平成 3
	名波 正義	平成 9
	木田 有利	平成11
	八尋 真名	平成13
	水崎 浩輔	平成17
	相地 誠	平成21
	増本 三和	平成23
	大川 智史	平成25
	上柳 堅太	平成30
	藤川亜里紗	平成30
精神科神経科	西井 理恵	平成10
	清野 仁美	平成12
	宇和 典子	平成14
	山西 恭輔	平成21
	向井馨一郎	平成22
	宮内 雅弘	平成24
	岸野 恵	平成25
	萩野 俊	平成29
	真殿 茉莉	平成30
小児科	下村 英毅	平成16
	三崎真生子	平成19
	齋藤 碧	平成20
	西岡 隆文	平成21
	藤野 哲朗	平成22
	谷口 洋平	平成25
	森田 啓嗣	平成27
	佐浦龍太郎	平成28
	濱田実貴子	平成28
	堀部 拓哉	平成30
	平野 公通	昭和63
肝・胆・膵外科	飯田健二郎	平成10
	末岡 英明	平成13
	岡本 共弘	平成15

所属科	氏名	卒業年
肝・胆・膵外科	栗本 亜美	平成18
	河端 悠介	平成26
	玉川慎二郎	平成26
下部消化管外科	別府 直仁	平成16
	馬場谷彰仁	平成20
	安原美千子	平成20
	木村 慶	平成21
	竹中 雄也	平成22
炎症性腸疾患外科	宋 智亨	平成23
	池内 浩基	昭和62
	内野 基	平成 7
	後藤 佳子	平成20
	堀尾 勇規	平成21
	桑原 隆一	平成22
	皆川 知洋	平成23
乳腺・内分泌外科	今村美智子	平成11
	尾澤 宏美	平成25
心臓血管外科	山村 光弘	昭和63
	田中 宏衛	平成 2
	良本 政章	平成 5
	上村 尚	平成23
呼吸器外科	上田 大輔	平成27
	橋本 昌樹	平成17
	中村 晃史	平成23
	中道 徹	平成24
	整形外科	麴谷 博之
橘 俊哉		平成 3
圓尾 圭史		平成12
中山 寛		平成14
高木 陽平		平成16
有住 文博		平成18
藤原 勇輝		平成18
楠山 一樹		平成19
井石 智也		平成21
井石 琢也		平成22
辻 翔太郎		平成23
澤井 龍生		平成26
楠川 智之		平成27
坂本龍之介		平成27
森尾 太志		平成29
長尾 和磨		平成30
波多野 克		平成30
形成外科	石瀬 久子	平成19
	杉山 優弥	平成30
脳神経外科	陰山 博人	平成10

20. 緑兵会会員名簿

所 属 科	氏 名	卒業年	
脳神経外科	白川 学	平成11	
	内田 和孝	平成12	
	立林洸太郎	平成20	
	飯田 倫子	平成22	
皮膚科	伊藤 孝明	昭和59	
	夏秋 優	昭和59	
	永井 諒	平成24	
	和田 吉弘	平成26	
泌尿器科	山田 祐介	平成18	
	花咲 毅	平成22	
産科婦人科	上田 真子	平成16	
	脇本 裕	平成19	
	井上 佳代	平成20	
	加藤 徹	平成20	
	杉山由希子	平成24	
	上田 友子	平成25	
	亀井 秀剛	平成25	
	佐伯信一郎	平成27	
	荻野 奈々	平成28	
	本田 晴香	平成29	
	眼科	木村亜紀子	平成 6
木村 直樹		平成 6	
石川 裕人		平成12	
細谷 友雅		平成13	
増田 明子		平成13	
田片 将士		平成15	
荒木 敬士		平成20	
岡本 真奈		平成21	
横山 弘		平成23	
今村 聡志		平成30	
岸本 和樹		平成30	
耳鼻咽喉科・頭頸部外科		都築 建三	平成 8
		寺田 友紀	平成 8
	宇和 伸浩	平成14	
	任 智美	平成14	
	美内 慎也	平成15	
	池畑 美樹	平成18	
	貴田 紘太	平成19	
	岡崎 健	平成21	
	須川 敏光	平成21	
	上田 龍生	平成30	
	平野 佳伸	平成30	
放射線科	富士原将之	平成10	
	若田 ゆき	平成13	
	加古 泰一	平成14	

所 属 科	氏 名	卒業年
放射線科	古川 佳孝	平成16
	五十嵐陽子	平成20
	稲尾 由江	平成22
	河中 祐介	平成22
	鈴木 公美	平成24
	河本 悠	平成26
	谷口 純一	平成27
	國元 亮	平成29
麻酔科・疼痛制御科	下出 典子	平成 7
	奥谷 博愛	平成21
	金子 隆彦	平成21
	橋本 和磨	平成21
	岡本 拓磨	平成23
	石本 大輔	平成25
	尾上 賢	平成25
	川崎 由衣	平成27
	朴 淳姫	平成28
	國見 宜史	平成29
	山崎 若菜	平成30
救急科	大家 宗彦	昭和61
	宮脇 淳志	平成 3
	平田 淳一	平成12
	小濱 圭祐	平成14
	坂田 寛之	平成23
	川口 貴之	平成26
	藤原 優香	平成28
	新田 翔	平成29
	長谷川佳奈	平成29
	リハビリテーション科	児玉 典彦
斎藤 卓仁		平成30
松島 聡子		平成30
病理診断科	廣田 誠一	昭和59
	山崎 隆	平成17
	吉田 誠	平成26
	石川 恵理	平成27
ペインクリニック部	高雄由美子	昭和62
感染制御部	中嶋 一彦	平成 7
医学教育学	成瀬 均	昭和56
	今西 宏安	昭和60
環境予防医学	若林 一郎	昭和57
	丸茂 幹雄	平成 6
公衆衛生学	大谷 成人	平成12
病理学分子病理部門	辻村 亨	昭和58
臨床疫学	武内 治郎	平成15
医療人育成研修センター卒後研修室	武内孝太郎	平成30

所 属 科	氏 名	卒業年
	相澤 良	平成31
	伊藤 真一	平成31
	伊藤 隆成	平成31
	上野健太郎	平成31
	奥田 真有	平成31
	奥村 智司	平成31
	岸本 聖	平成31
	北野 隆之	平成31
	久保 貴智	平成31
	熊本 友子	平成31
	阪本 知瞭	平成31
	清水 美沙	平成31
	新海 貴士	平成31
	砂川 卓哉	平成31
	高橋知佳子	平成31
	堤 友香	平成31
	寺尾颯一郎	平成31
	友尾 祐介	平成31
	友野 雅人	平成31
	中川 拓也	平成31
	中谷 鈴香	平成31
	西村 壮太	平成31
	西山 遼	平成31
	野間 光貴	平成31
	原田 和	平成31
	深田 学史	平成31
	前田 康汰	平成31
	牧 優菜	平成31
	増田奈穂美	平成31
	松並 尚幸	平成31
	皆川 侑子	平成31
	宮本 翔斗	平成31
	村田 雅昭	平成31
	森下 実咲	平成31
	山形 雄伸	平成31
	山中 大輔	平成31
	山本 修弘	平成31
	米田 秀揮	平成31
	阿竹 優紗	令和2
	天城今日子	令和2
	池田 茂生	令和2
	伊藤 正也	令和2
	上嶋麻衣子	令和2
	上殿 伶奈	令和2
	江川 可純	令和2

医療人育成研修センター
卒後研修室

所 属 科	氏 名	卒業年
	江川 将史	令和2
	大井 勝博	令和2
	岡野 裕紀	令和2
	岡本麻美子	令和2
	金子あかり	令和2
	河村 直樹	令和2
	神取 恭史	令和2
	甲田 素子	令和2
	菰池 哲史	令和2
	蔡 佳穎	令和2
	笹口まどか	令和2
	清水健太郎	令和2
	清水 由貴	令和2
	新宅 由佳	令和2
	田坂茉莉子	令和2
	橘 文佳	令和2
	田中 喬子	令和2
	谷 瑞穂	令和2
	呑海 知輝	令和2
	永田謙太郎	令和2
	中野 多絵	令和2
	濱田 一磨	令和2
	藤田 佳之	令和2
	藤平 真弓	令和2
	前尾 和沙	令和2
	松田 鋼介	令和2
	松前 雄大	令和2
	嶺尾 勇和	令和2
	村上 綾香	令和2
	村上 美沙	令和2
	森下 剛至	令和2
	守屋 育美	令和2
	八木 康至	令和2

医療人育成研修センター
卒後研修室

[令和2年7月1日作成]

※緑兵会は、兵庫医大卒業生のうち兵庫医大(西宮キャンパス)に在籍する常勤医と研修医、および昼間の大学院生の全員(緑兵会会員としての参加の意思は問いません)から成る緑樹会の支部です。
※所属は、兵庫医科大学病院の診療科および外来担当医に基づいて掲載しています。万が一、記載内容の誤りや記載漏れがあった場合はご容赦ください。その際は、緑兵会または緑樹会事務局にご連絡をいただきますようお願いします。

事務局より

第43回緑樹会総会懇親会に際しましてご厚意を賜り心より御礼申し上げます。
ご寄付頂きました方々へ感謝の意を込めご芳名を掲載させていただきます。
(新型コロナウイルス感染拡大の影響で懇親会の開催は中止となりました)

明石浩介 様	池内浩基 様	石井洋光 様	宇野津雅哉 様	梅山恵司 様
岡本健 様	奥井雅憲 様	霞雅子 様	河合豊 様	北川恵子 様
北川浩子 様	木村亜紀子 様	小池英明 様	小島奈緒子 様	佐藤仁 様
清水寛 様	清水史記 様	白藤法道 様	鈴木敏之 様	高橋敬子 様
田村和朗 様	丹野雅彦 様	津山恒 様	寺井浩 様	直江寿一郎 様
中谷真士 様	中村佳照 様	中山明 様	仁科一江 様	仁科昌久 様
藤木宏也 様	藤瀬一臣 様	前川講平 様	牧野泰博 様	曲直部裕一 様
森一也 様	森田廣明 様	森田博子 様	森村安史 様	矢野豊 様
山西博道 様	山本聡 様	若栄徳彦 様	(五十音順)	

会員名簿発行ご協力をお願い

緑樹会会員名簿を令和3年4月に発行します。名簿制作にあたり現況調査にご協力をお願いします。詳細は、会報に「緑樹会会員名簿用現況調査票」を同封していますのでご確認ください。今回から名簿の発送は、原則として令和元年度会費を納めていただいている会員様が対象となります。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



QRコードから
変更できます

会費納入のお願い

令和2年度の会費納入をお願い申し上げます。会費は年額1万円（新入会費1万円）です。同窓会は皆様年会費を基に維持運営されております。会員の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

●会費請求書について

令和2年度会費のお支払いは、会報に同封の専用払込票をお使ください。毎年10月頃に会費請求書をお送りしていましたが、発送物一元化のため今回から会報に同封しています。お間違いのないようご確認ください。

●会費口座自動振替のご案内

会費のお支払いは口座自動振替をお薦めしています。毎年ご指定口座から自動的に会費1万円をお引き落としさせていただきます（手数料不要）。希望の方は会報に同封の申込書でお手続きをお願いします。ご不明なことがございましたら緑樹会事務局にお問い合わせください。

教育研究棟入構許可証 (IC名札) について

さらなる“ALL兵医”感の構築、母校への帰属意識向上を目指し、緑樹会会員のみなさまへ煌びやかに完成した“教育研究棟”への入構許可証 (IC名札) 発行制度を準備致しました。各学年の卒業アルバムも常備された話題のメモリアルルーム「アーカイブズ室」も御覧頂けます。

希望の方は、①氏名、②自宅住所、③連絡先 (メールアドレス、連絡可能な電話番号) を記載の上、④顔写真1枚 (6ヶ月以内に撮影したもの) を添えて緑樹会事務局にメールまたは郵送で申し込んで下さい。発行費は無料です。



留意事項

- ・IC名札発行に際し、「緑樹会年会費を納入している事、現住所とメールアドレス・電話番号 (携帯番号) を事務局に登録し、会報を現住所で受領している事」を前提と致します。
- ・IC名札の利用は別途定める管理規定に従っていただきます。
- ・IC名札の有効期限は5年です。更新時期に事務局から更新確認を行います。
- ・IC名札で図書館ゲート通過も可能となりますが、図書館利用資格については図書館が定める規定に従ってください。
- ・IC名札を持っていない場合でも従来通りの窓口手続きで教育研究棟への入構、図書館利用は可能です。

問い合わせ先・申し込み先
兵庫医科大学同窓会 緑樹会事務局
〒663-8501 西宮市武庫川町1-1
TEL : 0798-45-6448 FAX : 0798-45-6449
E-mail : ryokuju@hyo-med.ac.jp

会員訃報

池上昇司 先生 令和2年3月ご逝去 (昭和61年卒業)

岩崎 徹 先生 令和2年7月ご逝去 (昭和56年卒業)

謹んでご冥福をお祈りいたします



スマイレ会グループ 医療法人社団 董会



理事長
前田 章
整形外科
(兵庫医大 S57年卒)

北須磨病院

標榜科目 整形外科・外科・消化器外科・肛門外科・内科・呼吸器内科・糖尿病内科・循環器内科
消化器内科・泌尿器科・皮膚科・耳鼻咽喉科・放射線科・リハビリテーション科・麻酔科・眼科

理念 “ふれあい・やさしさ・あんしん”
脊椎・腰痛センター併設

ベッド数：144床
〒654-0102 神戸市須磨区東白川台1丁目1番地1
TEL 078-743-6666



副理事長・病院長
波多野 希
整形外科
(兵庫医大 S60年卒)



外科部長
住本 洋之
外科・麻酔科
消化器科
(兵庫医大H6年卒)



内科部長
飯尾 元彦
内科
(兵庫医大H9年卒)



名谷病院

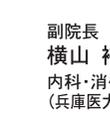
標榜科目 整形外科・外科・脳神経外科・内科・消化器内科・糖尿病内科・循環器内科・泌尿器科・歯科
放射線科・リハビリテーション科

理念 名谷病院は、「高度で良質な医療」を提供し、「地域に
根付いた医療」を目標に職員一同努力します。

ベッド数：112床
〒655-0852 神戸市垂水区名谷町字梨原2350-2
TEL 078-793-7788



副理事長・病院長
高橋 良典
整形外科
(兵庫医大H7年卒)



副院長
横山 裕治
内科・消化器内科
(兵庫医大S61年卒)



松田 泰彦
整形外科
(兵庫医大S60年卒)



伊川谷病院

標榜科目 内科・外科・整形外科・循環器内科・人工透析内科・乳腺外科・消化器外科・脳神経外科
肛門外科・婦人科・眼科・放射線科・麻酔科・リハビリテーション科・人間ドック

理念 医療施設・介護施設の連携を密にして地域に安心と
納得、そして安全な医療の提供を目指します。

ベッド数：115床
〒651-2111 神戸市西区池上2丁目4番地の2
TEL 078-974-1117



副院長
西藤 勝
乳腺外科
(兵庫医大H8年卒)



外賀 真
外科
(兵庫医大H8年卒)



才田 啓友
整形外科
(兵庫医大H16年卒)



スマイレ会グループ

- 医療法人社団 董会 (神戸)
- 医療法人 研医会 (田辺)
- 一般財団法人 鎌倉病院 (鎌倉)
- 社会福祉法人 すみれ福社会 (明石)
- 社会福祉法人 鞍手ゆたか福社会 (福岡)
- 医療法人社団 桜学会 (横浜)
- 医療法人 都慈会 (奈良)
- 社会福祉法人 すみれ会 (神戸)
- 社会福祉法人 すみれ厚生会 (乗東)
- 学校法人 スミレ・アカデミー (神戸)
- 医療法人 鳳林会 (津)
- 医療法人 敬滋会 (守山)

人工関節・スポーツ整形などの整形外科領域と
リハビリテーションを中心として
地域医療に貢献してまいります。



医療法人社団
西宮回生病院

院長 福西成男 昭和63年卒 サッカー部

整形外科／リハビリテーション科
内科／脳神経外科／小児科
皮膚科／外科／麻酔科

施設基準

回復期リハ病棟入院料I (76床) 一般急性期入院料(36床) 地域包括ケア入院医療管理(10床)

〒662-0957
兵庫県西宮市大浜町1番4号
Fax 0798-22-9920
E-mail info@kaiseihp.jp

お問い合わせは
こちら

☎ **0798-33-0601**
(電話受付時間9:00~17:00)

くわしくは
WEBへ





桂クリニック

診療科目；外科・整形外科・胃腸内科・リハビリテーション科

院長 **桂 康博** 兵庫医大 昭和 53 年卒業

〒660-0893
兵庫県尼崎市西難波町 5 丁目 6 番 22 号
TEL 06-6482-0777



アイワ病院

診療科目；整形外科・消化器外科・肛門外科・消化器内科
循環器内科・呼吸器内科・麻酔科

院長 **美崎 晋** 兵庫医大 昭和 60 年卒業

〒661-0953
兵庫県尼崎市東園田町 4 丁目 101 番地 4
TEL 06-6499-0888



医療法人社団 青洲会

理事長 杉浦 史哲

宇野津整形外科



院長 **宇野津雅哉 (H5)**

兵庫県姫路市青山西 1 丁目 11 番 13 号

姫路駅北口バスターミナル 39 番ルート、宇野津医院前下車

☎079-266-3401(代)FAX079-267-1970



Oi Clinic

大井クリニック

脳神経外科・整形外科・リハビリテーション科

副院長 整形外科 大井雄紀(平成16年卒)

診療時間	月	火	水	木	金	土
09:00-12:00 [受付終了/11:30]	●	●	●	●	●	●
16:00-19:00 [受付終了/19:00]	●	●	●	/	●	/

木曜午後…日帰り外来手術、スクリーニング脳ドック(自由診療)、遠隔医療(自由診療)
[随時]…発達脳専門外来 / スポーツ専門外来 / 再生医療(自由診療) / 毛髪相談外来

休診日 / 土曜午後・日祝

医師&後期研修生募集!

大人から子どもまで専門性の高い精神科医療を目指します。



こころの医療センター 五色台

理事長・院長 佐藤 仁 (平成3年卒)



精神科・心療内科・内科・歯科

TEL.0877-48-2700 FAX.0877-48-2886
香川県坂出市加茂町963番地 <http://www.goshikidai.or.jp>

医療法人社団 五色会 / こころの医療センター 五色台

- こころの医療センター五色台 院内施設
デイ・ナイト・ケア(ブルミエ・ファミリー・オリバ)
カフェブルミエ
- 医療法人社団五色会 関連施設
訪問看護ステーション Gステーション
事業所内保育園 オリブガーデン
- サテライトクリニック
五色台クリニック(JR高松駅前)
坂出メンタルクリニック(JR坂出駅前)
- 社会復帰施設
中讃地域生活支援センター
精神障害者グループホーム 五色台
就労継続支援B型ドリームワークス
共同住宅 アビタチオーネ
- 高齢者施設
介護老人保健施設 五色台
グループホームたまもよし
指定居宅介護支援事業所五色台
やすらぎホームさぬきのくに

皆様の益々の御発展と御健康を願っています



安全、安心、信頼を届ける私達であり続けたい
～どこよりも生き生き健康でいられる地域～



標榜科目： 内科・循環器内科・糖尿病内科・総合診療科・小児科・外科・整形外科
脳神経外科・泌尿器科・眼科・耳鼻咽喉科・歯科・矯正歯科・婦人科・皮膚科
心療内科・リハビリテーション科
ベッド数： 90床(地域包括ケア病床：20床)

所在地
〒679-5382 兵庫県佐用郡佐用町佐用1111番地
TEL:0790-82-2321 FAX:0790-82-2894
URL:<http://sayohp.jp/>

理事長 森 光樹
病院長 市川 博康

兵庫医科大学同窓生
病院長 市川 博康(H9年卒)
眼科医師 杉澤 孝彰(H28年卒)

サポートしますあなたの健康、
すこやかな明日のために

公益財団法人 兵庫県予防医学協会
会長 石原 享介

健診センター
〒657-0846 神戸市灘区岩屋北町1-8-1
☎ (078) 855-2715 FAX (078) 855-2765
<https://hyogo-yobouigaku.or.jp>

健康ライフプラザ健診センター
〒652-0897 神戸市兵庫区駅南通5-1-2-300
☎ (078) 652-5201 FAX (078) 652-5211
<https://hyogo-yobouigaku.or.jp/lifepiazza/>

保健環境センター
〒658-0046 神戸市東灘区御影本町6-5-2
☎ (078) 856-2211 FAX (078) 856-9172
<https://hyogo-yobouigaku.or.jp/analysis01/>

安田 敏成(S61卒)常務理事・健診センター長
兵庫医科大学特別招聘教授

山浦(城) 泰子(S59卒)健診センター参与
村谷(金高) 温子(S61卒)健診センター医局医長

兵庫医科大学と兵庫医科大学病院を応援します



医療法人瀬尾記念会 理事長
瀬尾クリニック 院長

瀬尾 達

〒660-0052 尼崎市七松町1-2-1-302

TEL&FAX 06-6415-3387

瀬尾クリニック 耳鼻科

検索

長兄、次兄、私、3人とも兵庫医科大学卒です。

緑樹会の皆様、いつも大変お世話になっております。



ほしな眼科クリニック

hoshina Eye Clinic

保科 幸次 (平成3年卒/ラグビー部)

兵庫県西宮市門前町3-2

TEL: **0798-65-0095**

<http://hoshina-eye-clinic.com/>



元大学職員 柳谷浩以さんと

We love
H.C.M!

眼科一般・小児眼科・白内障日帰り手術(多焦点眼内レンズ)・近視進行抑制療法・コンタクトレンズ



PART OF THE *Johnson & Johnson* FAMILY OF COMPANIES

ATTUNE® TOTAL KNEE SYSTEM CEMENTLESS

CRUCIATE RETAINING (CR)
ROTATING PLATFORM (RP)



Attune®
Knee System

intuition™
INSTRUMENTS

depuysynthes.jp

製造販売元：ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 デピューシネス事業本部 ジョイント リコンストラクション ビジネスユニット 〒101-0065 東京都千代田区西神田 3丁目5番2号

販売名：ATTUNE セメントレス人工膝関節システム / 承認番号：2280082X00437000 / 販売名：ATTUNE RP 人工膝関節システム / 承認番号：2250082X00031000

販売名：Attune Intuition 手術器械 (セメントレス) / 承認番号：1381X00204D00082 / 販売名：Attune Intuition 手術器械 / 承認番号：1381X00204D00069

©J&JK2020・144817-200626

Novartis Pharma K.K.



新しい発想で医療に貢献します

ノバルティスのミッションは、より充実した、
すこやかな毎日のために、新しい発想で医療に貢献することです。
イノベーションを推進することで、
治療法が確立されていない疾患にも積極的に取り組み、
新薬をより多くの患者さんにお届けします。

 NOVARTIS

ノバルティス ファーマ株式会社

<http://www.novartis.co.jp/>

薬価基準収載

MAGNESCOPE®

5つの選択肢



Guerbet

COMMITTED

環状型MRI用造影剤

マグネスコープ® 静注38%シリンジ

Magnescape® iv inj. 38% Syringe
10mL, 11mL, 13mL, 15mL, 20mL
ガドテル酸メグルミン注射液

処方箋医薬品^{注)}

注) 処方箋医薬品: 注意一医師等の処方箋により使用すること

効能・効果、用法・用量、警告、禁忌(原則禁忌を含む)および
使用上の注意等の詳細につきましては、添付文書をご参照ください。

製造販売元 **ゲルベ・ジャパン株式会社**
東京都千代田区麹町6丁目4番6号
<http://www.guerbet.co.jp/>

マグネスコープ、Magnescapeはゲルベ・ジャパン株式会社の登録商標です。

チャレンジの航跡を未来へ繋ぐ

— 私たちの、造血器腫瘍への飽くなき挑戦 —



抗造血管悪性腫瘍剤 薬価基準収載
レブラミド カプセル **2.5mg**
Revlimid® Capsules **5mg**
レナリドミド水和物カプセル
[毒薬] 処方箋医薬品^{注)} ※ 注意一医師等の処方箋により使用すること

抗造血管悪性腫瘍剤 薬価基準収載
ポマリスト カプセル **1mg** **2mg**
Pomalyst® Capsules **3mg** **4mg**
ポマリドミドカプセル
[毒薬] 処方箋医薬品^{注)} ※ 注意一医師等の処方箋により使用すること

抗悪性腫瘍剤
ヒストン脱アセチル化酵素(HDAC)阻害剤 薬価基準収載
イストダックス 点滴静注用 **10mg**
ISTODAX® Injection
ロミアフィン注射液
[劇薬] 処方箋医薬品^{注)} ※ 注意一医師等の処方箋により使用すること

効能・効果、用法・用量、警告、禁忌を含む使用上の
注意等につきましては、製品添付文書をご参照
ください。

製造販売元(文献請求先及び問い合わせ先)
Celgene **セルジーン株式会社**
〒100-7010 東京都千代田区丸の内二丁目7番2号

(1904)



// より良い明日へ

患者さんとそのご家族の「満たされたい願い」に応えるため、
革新的な新薬をいち早くお届けすることが私たちの使命です。
医薬品の開発を通じて人々のクオリティ・オブ・ライフの向上に貢献していきます。

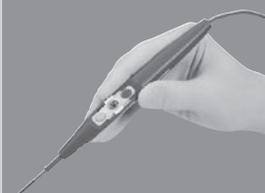
バイエル薬品株式会社 <https://byl.bayer.co.jp/>

Science for a better life

PP-GEN-JP-0061-03-07



Valleylab™ FT10
エネルギープラットフォーム



理想の手術を追求する、 この1台

ソフトコアグモード搭載モデルが
ついに誕生

販売名：Valleylab FT10エネルギープラットフォーム 医療機器承認番号：228008ZX00157000 クラス：Ⅲ
販売名：Force Triadエネルギープラットフォーム 医療機器承認番号：219008ZX00853000 クラス：Ⅲ

お問い合わせ先
コヴィディエンジャパン株式会社
Tel. 0120-998-971
[medtronic.co.jp](https://www.medtronic.co.jp)

Medtronic



Medacta Internationalはスイスに本社を置く、整形及び脳外科インプラントの開発・製造・販売を行っているグローバルカンパニーです。
Medactaは患者の生活の質を高めることをビジョンとして掲げております。

イノベーション、教育訓練の場を提供します。



製造販売元 許可番号 1381X10040
メダクタジャパン株式会社
〒102-0062 東京都千代田区豊明3-3-5 豊明中田ビル
TEL: 03-6722-6797 FAX: 03-6722-6758



承認番号: Z2808Z0021J1000
製造元: G.M.K. モンテアット人工関節システム
承認番号: Z2009Z00027900
販売元: G.M.K. モンテアット人工関節システム

承認番号: Z2808Z0021K000
製造元: MEDCOTEC 株式会社
販売番号: 1381X1006461001
販売元: AMIS モニトル レッグポジション



承認番号: Z1808Z0021K000
製造元: MEDACTA 人工関節システム リバーズ型

in | MEDACTA.JP | TV

© 2019 Medacta International CA. All rights reserved. rev. 11/201902028



ヒト型抗CD38モノクローナル抗体

薬価基準収載

ダラザレックス® 点滴静注
100mg・400mg

DARZALEX® Intravenous Infusion

ダラツムマブ (遺伝子組換え) 製剤

生物由来製品 創薬 処方箋医薬品*

*注意一医師等の処方箋により使用すること

製造販売元 (資料請求先)

ヤンセンファーマ株式会社

〒101-0065 東京都千代田区西神田3-5-2

www.janssen.com/japan

www.janssenpro.jp (医薬品情報)

「効能・効果」、「用法・用量」、「警告・禁忌を含む使用上の注意」等は、製品添付文書をご参照ください。

©Janssen Pharmaceutical K.K. 2018

2018年11月作成

Lumière

ルミエ・パッチ

両眼をパッチリ
開けられる！



今お使いのメガネに貼れる
半透明で目立ちにくい
水洗いでき繰り返し使える

斜視弱視訓練用
一般医療機器

フリーサイズ
2枚入

MADE IN JAPAN

医療機器届出番号：04B3X10008000031
一般医療機器 / フレスネルレンズ
器 22 / 検眼用器具 / 検眼用品
製造販売：ヤグチ電子工業㈱

写真はCGイメージです



株式会社 **リッツメディカル**

本社 / 〒441-0105 愛知県豊川市伊奈町新屋 279 番地
TEL.0533-72-5210 FAX.0533-78-3120
URL <http://www.ritz-med.co.jp>

学校法人兵庫医科大学 関連事業法人（損害保険代理店）

有限会社エイチ・アイ・サービス

～各種の損害保険の取り扱いで、学校法人兵庫医科大学への側面支援を目指します～

<会社概要>

私どもは、株式会社エイチ・アイ（学校法人兵庫医科大学出資子会社）の100%出資事業会社として2005年4月に設立、営業開始しました。学校法人兵庫医科大学の関連会社として、大学、病院の各種保険や、教職員、学生の皆様の各種保険の取り扱いを行っております。

<営業案内 ～例えばこんな保険を取り扱っております～>

- 火災保険 ・火災だけでなく自然災害、日常のアクシデントまで、ワイドな補償で大切なお住まいや家財をお守りします。
- 自動車保険 ・先進のサービス、万全の事故・故障対応、充実の補償でマイカー回りの「安心」「安全」をお届けします。
- 海外旅行保険 ・旅行ご出発からご帰宅までの海外旅行中の思いがけないアクシデント。海外旅行保険が安心をお届けします。
- その他の保険 ・傷害保険、賠償責任保険、自転車総合保険等。



〒663-8501

西宮市武庫川町 1-1 兵庫医科大学 1号館 6階

電話： (0798) 45-6673
FAX： (0798) 45-6676
URL: <https://www.hi-hyogo.com/his/>



MIZUNO
MEDICAL
WEAR



LINE - UP



01 ホワイト

14 ネイビー

63 ワイン

ハイドロ銀チタン
スクラブ

F2JE0199□□

2020年6月発売予定

本体価格
オープン価格



01 ホワイト

14 ネイビー

63 ワイン

ハイドロ銀チタン
パンツ

F2JF0199□□

2020年6月発売予定

本体価格
オープン価格

FUNCTION 1

ハイドロ銀チタン®



医師の発想で生まれたハイドロ銀チタン® (Hyd[AgTiO₂])は、繊維に付着したタンパク質を分解するDR.C医薬独自のクリーン技術です。繊維上に付着した細菌などの増殖を抑制し、特定用途の抗菌性^{※1}を発揮します。繊維上に付着した汗のニオイの元になるタンパク質を徐々に分解します。^{※2}

※1 抗菌性評価法 制菌加工SEK基準による ※1、2 タンパク質の種類・量によっては分解できないもあり、使用環境によって機能は変化します。

□ 金属アレルギー(銀・チタン)をお持ちの方はご使用をお控えください。

FUNCTION 2

DynamotionFit ダイナモーションフィット

これまでさまざまな競技に携わり、多くのアスリートたちの動きをサポートしてきたミズノのスポーツウエア。その開発のベースとなっているのが「ダイナモーションフィット」。その技術を応用し、医療現場の動きに合わせたウエアを開発しました。

動き続けるを、支え続ける。 MIZUNO MEDICAL

mizuno.jp 0120-320-799

学校法人兵庫医科大学 事業法人

株式会社エイチ・アイ

緑樹会会員の先生方に様々な商品、サービスをお届けします

- 緑樹会オリジナルロゴ入り スクラブ、クッキーの販売
- 大学グッズ/オリジナル商品(水、ボールペン、マフラータオルなど)の販売
- キャンパス内食堂(ROYAL、学生食堂、大学会館)のパーティ利用のご相談
- 暮らしに役立つ様々なサービス/カーシェアなど
- クリニック等開業サポート
- その他

まずは緑樹会事務局にお問い合わせください

兵庫医科大学1号館6F 担当:事業部
TEL:0798-45-6656 FAX:6676
<https://www.hi-hyogo.com/>

緑樹会会員様専用ページ
<https://www.hi-hyogo.com/ryokujiyukai/>
※ユーザー名、パスワード hi456676



弊社は学校法人兵庫医科大学100%出資の事業法人です

大学グッズ大好評販売中!

まだないくすりを
創るしごと。

www.astellas.com/jp/

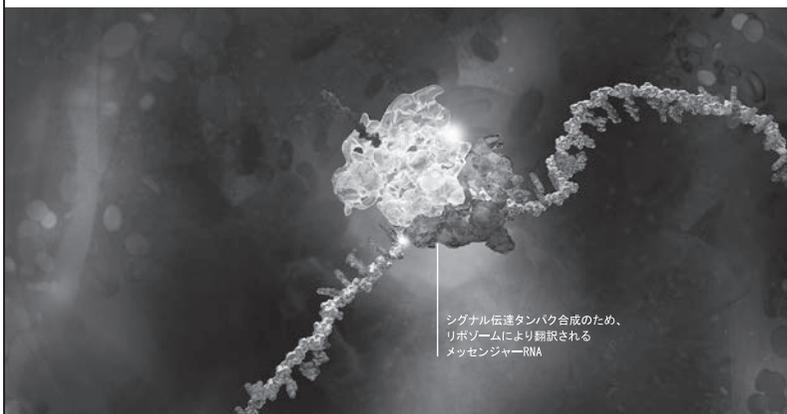
明日は変えられる。

 **astellas**

アステラス製薬株式会社

What science can do

AstraZeneca 



シグナル伝達タンパク合成のため、
リボソームにより翻訳される
メッセンジャーRNA

アストラゼネカ株式会社

〒530-0011 大阪市北区大深町3番1号 グランフロント大阪タワーB
www.astrazeneca.co.jp/



処方箋医薬品：注意—医師等の処方箋により使用すること

慢性便秘症治療薬

薬価基準収載

モビコール® 配合内用剤

MOVICOL®

効能又は効果、用法及び用量、禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

「モビコール」及び MOVICOL は、Norgineグループの登録商標です。

製造販売元



EAファーマ株式会社
東京都中央区入船二丁目1番1号



プロモーション提携

エーザイ株式会社
東京都文京区小石川4-6-10

文献請求先・製品情報お問い合わせ先：EAファーマ株式会社 くすり相談室 ☎ 0120-917-719

2019年11月作成
MVC-D06C-B54-NR

Santen

A Clear Vision For Life™

すべては
目の健康のために

参天製薬は眼科医療の可能性を
探求し続けます

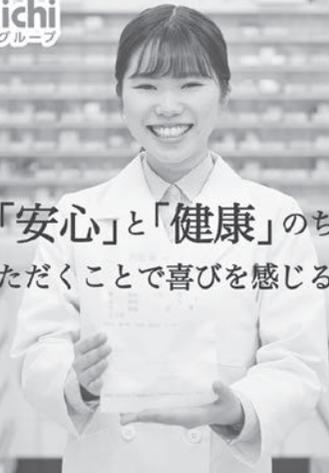
参天製薬株式会社

大阪市北区大深町 4-20
TEL 06-6321-7000
www.santen.co.jp

JA19H000A43WB_R



地域の方の「安心」と「健康」のちからになり、
喜んでいただくことで喜びを感じる会社です。

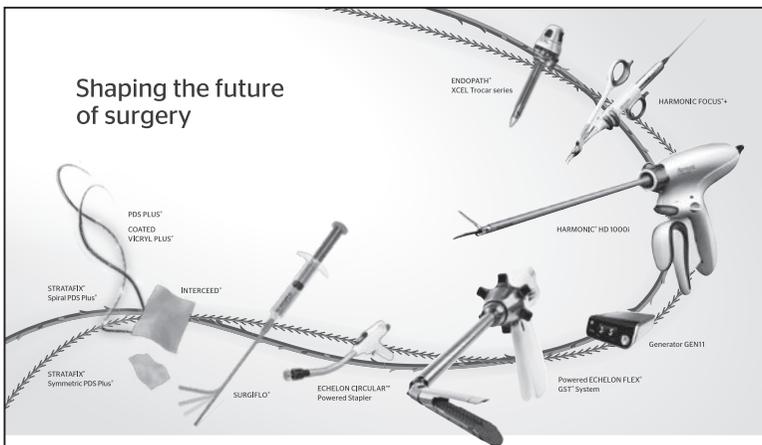


阪神間で

調剤
専門型 と 調剤併設型
ドラッグストア



Shaping the future
of surgery



ETHICON
PART OF THE Johnson & Johnson FAMILY OF COMPANIES

販売用イーモニック HD 1000	承認番号 2290082X00195000	販売用インシグナ	承認番号 2030082Y00268000
販売用イーモニック FOCUS プラス	承認番号 2210082X00481000	販売用イーモニック プラチナムプラス	承認番号 2200082X00301000
販売用 PDS	承認番号 2290082X00333000	販売用バイオトル プラス	承認番号 2200082X00962000
販売用イーモニック トリプルロック	承認番号 2160082X00882000	販売用 E1521 シュー	承認番号 2250082X00189000
販売用 E1521 シュー	承認番号 2260082X00272000	販売用 E1521 シュー	承認番号 2200082X00263000
販売用 E1521 シュー	承認番号 3010082X00195000	販売用 E1521 シュー	承認番号 2210082X00120000
販売用 E1521 シュー	承認番号 2200082X00386000	販売用 E1521 シュー	承認番号 2270082X00215000

製造販売元: ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 メディカルカンパニー 〒100-0065 東京都千代田区有明 3-1-3 33480200226 ©J&J KK 2020



末梢性神経障害性疼痛治療剤 薬価基準収載
 **タリージェ錠** 2.5mg・5mg
 10mg・15mg
一般名：ミロガバリンベシル酸塩 (Mirogabalin Besilate)
 処方箋医薬品 注意—医師等の処方箋により使用すること

効能・効果、用法・用量、禁忌を含む
 使用上の注意等の詳細については、
 添付文書をご参照ください。

製造販売元（文献請求先及び問い合わせ先を含む）
 **第一三共株式会社**
Daiichi-Sankyo 東京都中央区日本橋本町3-5-1

2020年1月作成



Better Health, Brighter Future

タケダから、世界中の人々へ。
 より健やかで輝かしい明日を。

武田薬品工業株式会社

www.takeda.com/jp



がんではない。
 ひとりを見つめるのだ。

すべての革新は患者さんのために

 **中外製薬**

 ロシュグループ

マルチファンクション・レフラクトメーター

MR-6000

TOMEY

レフ・ケラト・トノ・パキ・トポ、
5つの機能をこの1台で。



REF
KERATO

- ・独自技術により、レフ測定データのバラツキを低減
- ・「Quick Ref」搭載
- ・ケラト測定時に角膜不正乱視を検出

TONO
PACHY

- ・不要エアークット機能搭載
- ・眼圧とともに角膜厚も測定

TOPO

- ・角膜の局所的な変形を抽出
- ・フーリエ解析マップ搭載

製造販売業者

株式会社 トーメーコーポレーション 〒451-0051 名古屋市西区則武新町二丁目11番33号
TEL (052) 581-5321 FAX (052) 581-5626 URL <http://www.tomey.co.jp>

自動視力計

NV-350

- 4ヶ国語対応自動視力計
- マニュアル操作も可能
- データ通信可能



Eye & Health Care

株式会社 ニデック

<大阪営業部> TEL (06)6838-0030

URL <https://www.nidek.co.jp>

販売名:自動視力計 NV-350

世界中の人々の
より豊かな人生のため、
革新的医薬品に
思いやりを込めて



Lilly

日本イーライリリーは製薬会社として、
人々がより長く、より健康で、
充実した生活を実現できるよう、
がん、糖尿病、筋骨格系疾患、
中枢神経系疾患、自己免疫疾患、
成長障害、疼痛などの領域で、
日本の医療に貢献しています。

日本イーライリリー株式会社

〒651-0086 神戸市中央区磯上通 5-1-28
www.lilly.co.jp

すこやかな視界への挑戦。

Nitten 株式会社 日本点眼薬研究所

<https://www.nitten-eye.co.jp>

NTIA-20058-01

見ることの喜びを さらに大きく豊かに

HOYA Surgical Optics

HOYA 株式会社 メディカル事業部

お問い合わせ先：近畿営業所

〒541-0045 大阪府大阪市中央区道修町3-6-1 京阪神御堂筋ビル4F
TEL：06-6205-0050

HOYA
SURGICAL OPTICS



多様化した“検査&生活スタイル”に応じた前処置システム

薬価基準収載

[処方せん医薬品]
クエン酸マグネシウム製剤(散剤)

マグコロール®

《包装》ラミネート袋入り：50g×10
パウチ入り：100g×6

【パウチ100g包装】
等張液投与



患者さんへの
思いやりが
カタチに
なっています

3食セット



Enmaclin Enmaclin E-COON Enmaclin PO

2食セット



Enmaclin Coral Enmaclin CS

患者さんにやさしい
大腸内視鏡検査前処置

※禁忌、効能・効果、用法・用量、使用上の注意等の
詳細につきましては、製品添付文書を
ご参照下さい。

胃・腸の診断と治療を通じて専任する



堀井薬品工業株式会社
〒540-0038 大阪市中央区内淡路町1丁目2番6号

TEL 06-6942-3481(代)
【眼科医処方 安全告知欄】
<http://www.hori-pharm.co.jp>
0120-010-320



Photo: GLA 200 d 4MATIC *写真は欧州仕様車です。

Photo: GLB 200 d 4MATIC *写真は欧州仕様車です。

The New GLA / GLB Debut 週末はショールームでお待ちしております。

Mercedes-Benz



地域最大の
展示台数

メルセデス・ベンツ正規販売店 / サーティファイドカー(認定中古車)販売店

メルセデス・ベンツ西宮 株式会社ヤナセ 西宮支店

〒663-8242 西宮市津門飯田町3-38 TEL.0798-66-3333

YANASE

安全と医療機器をともにお届けします

ISO 9001 認証登録

YAYOI
Corporation

医療機器・病院設備全般・SPDシステム
血管内治療用デバイス・整形外科関連製品
内視鏡関連製品・透析関連製品・ME機器管理



株式会社

やよい

■本社 / 〒670-0936 姫路市古二階町3番地 Tel: 079 (224) 5151(代) Fax: 079 (224) 2024
ホームページ <http://www.kk-yayoi.co.jp>

- | | | |
|---------|-----------|-------------|
| ■ 姫路営業所 | ■ 大阪南営業所 | ■ 物流センター |
| ■ 神戸営業所 | □ 津営業所 | ■ SPDセンター兵庫 |
| ■ 阪神営業所 | □ アンギオ事業部 | □ SPDセンター大阪 |
| ■ 大阪営業所 | □ 人工臓器事業部 | □ 神戸SPDセンター |

■はISO 9001:2015の認証登録事業所です



協賛御礼

緑樹会会報77号発行に際し、多大なるご協賛をいただき心より御礼申し上げます。

オルソテック株式会社様におかれましてはここに感謝の意を込めて
社名を掲載させていただきます。

緑樹会会長 石藏礼一

編 集 後 記

初秋の候、皆様におかれましてはますますご活躍のことと拝察いたしております。

本誌は今号から兵庫医大50周年に向けた企画を開始し、更に発展させていこうとしておりますが、COVID-19のために我々医師の働き方に大変革が起きている中、誌面作りも変わってきました。直接に顔をつきあわせる編集会議は開かず、LINEやメールでのやり取りを中心としましたが、同窓生の皆様のご協力により、いつもと遜色のない内容でお届けできたものと思います。寄稿をいただいた先生方に厚く御礼を申し上げます。

COVID-19についてはまだ当面は余談を許さない状況が続くと思いますが、次号以降でも皆様のご協力・ご寄稿をお待ちしておりますので、よろしく願いいたします。

令和2年9月

緑樹会広報

笠 間 周 平 (平成10年卒業)

緑樹会会員数4343名(正会員・準会員含む 令和2年7月1日現在)

兵庫医科大学同窓会 緑樹会事務局

〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1-1 教育研究棟3階
TEL : 0798(45)6448 FAX : 0798(45)6449 業務時間 月～金 : 13時～17時
E-mail : ryokuju@hyo-med.ac.jp

表紙の写真

緑樹会会報創刊号(昭和56年2月5日発行)

昭和56年頃の兵庫医科大学航空写真(写真提供:学務部アーカイブズ室)

裏表紙撮影にご協力いただいた先生

- 上段左から 井石智也(平成21年卒)整形外科学助教
大迎知宏(平成3年卒)大迎整形外科院長
荒川晃(平成1年卒)あらかわ整形外科院長
- 中段左から 宇野津雅哉(平成5年卒)宇野津整形外科医院院長
鈴木敏之(昭和54年卒)鈴木産婦人科院長
小島奈緒子(平成7年卒)折野産婦人科・こじまレディースクリニック
- 下段左から 西川賢吾(平成21年卒)合志病院整形外科部長
澁谷真彦(平成16年卒)オクノクリニック神戸三宮院院長
平川一秀(平成2年卒)平川クリニック院長
森口林太郎(平成9年卒)船戸医院院長

